

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

X-T2 Version 2.10

使用説明書

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

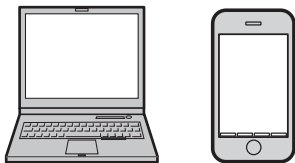
最新情報について

本製品の最新情報はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/manuals/>



上記サイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。





目次


メニュー一覧	iv
1 このカメラの概要	1
2 撮影の準備	25
3 基本的な撮影と再生	47
4 動画の撮影と再生	53
5 撮影に関する設定	61
6 撮影メニュー	113
7 画像の再生と再生メニュー	171
8 セットアップメニュー	201
9 ショートカット機能	247
10 オプション品・外部機器の使い方	261
11 他機器との接続	289
12 資料	301

メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

撮影時に使用できるメニューです。


 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (📖 113)。

 画質設定		 フォーカス設定	
画像サイズ	115	フォーカスエリア選択	133
画質モード	116	AF モード	134
RAW 記録方式	117	AF-C カスタム設定	135
1/3 フィルムシミュレーション	118	1/2 縦 / 横位置 AF モード切替	139
グレイン・エフェクト	120	AF ポイント表示 	139
ダイナミックレンジ	121	フォーカス点数切り替え	140
ホワイトバランス	122	プリ AF	140
ハイライトトーン	126	AF 補助光	141
シャドウトーン	126	顔検出 / 瞳 AF 設定	141
カラー	127	AF+MF	143
シャープネス	127	MF アシスト	144
2/3 ノイズリダクション	128	フォーカスチェック	145
長秒時ノイズ低減	128	2/2 測光&フォーカスエリア連動	145
点像復元処理	129	ワンブッシュ AF 時の動作	146
色空間	129	被写界深度スケール	146
ピクセルマッピング	130	レリーズ優先 / フォーカス優先	147
3/3 カスタム選択	131		
カスタム登録 / 編集	131		

📷 撮影設定		📖	🎥 動画設定		📖
	ドライブ設定	148		動画モード	166
	セルフタイマー	151		動画 AF モード	167
	インターバルタイマー撮影	152		HDMI 出力情報表示	167
	シャッター方式	154		4K 映像出力先	168
	ブレ防止モード	155		HDMI レックコントロール	169
	感度 AUTO 設定	156		マイクレベル設定	169
	マウントアダプター設定	157			
	ワイヤレス通信	160			
🔦 フラッシュ設定		📖			
	フラッシュ機能設定	161			
	赤目補正	162			
	TTL-LOCK モード	163			
	LED ライト設定	164			
	MASTER 設定	165			
	CH 設定	165			

再生メニュー


再生時に使用できるメニューです。

 詳細は再生メニューをご覧ください (📖 178)。

🔄 再生メニュー		📖	🔄 再生メニュー		📖
1 ^{/3}	スロット切り替え	178	2 ^{/3}	ボイスメモ設定	190
	RAW 現像	179		画像コピー	191
	消去	182		ワイヤレス通信	192
	トリミング	185		スライドショー	193
	リサイズ	186		フォトブックアシスト	194
	プロテクト	187		PC 保存	196
	画像回転	188		プリント予約 (DPOF)	197
	赤目補正	189		instax プリンタープリント	199
			3 ^{/3}	表示比率	200

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。

 設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (📖 201)。

 基本設定	
フォーマット	203
日時設定	204
世界時計	205
言語/LANG.	206
マイメニュー設定	206
センサークリーニング	208
リセット	209

 音設定	
AF 合焦音量	210
セルフタイマー音量	211
操作音量	211
ヘッドホン音量	212
シャッター音量	212
シャッター音	213
再生音量	213

 表示設定	
EVF 明るさ	214
EVF 鮮やかさ	215
LCD 明るさ	215
LCD 鮮やかさ	216
1/2 撮影画像表示	216
縦横自動回転表示	217
マニュアル時モニター露出/ WB 反映	217
モニター撮影効果反映	218
フレーミングガイド	219
縦横自動回転再生	220
2/2 距離指標の単位	220
2 画面モード表示設定	221
画面のカスタマイズ	221

操作ボタン・ダイヤル設定		
1/3	フォーカスレバー設定	223
	クイックメニュー登録 / 編集	224
	Fn/AE-L/AF-L ボタン設定	226
	セレクターボタン設定	228
	コマンドダイヤル設定	228
	S.S. 操作設定	229
	感度ダイヤル設定 (H)	229
	感度ダイヤル設定 (L)	230
2/3	感度ダイヤル設定 (A)	230
	半押し AF	231
	半押し AE	231
	レンズなしレリーズ	232
	カードなしレリーズ	232
	フォーカスリング	233
	AE/AF-LOCK 設定	233
3/3	絞り設定	234
	ロック	234
消費電力設定		
	自動電源 OFF	236
	パフォーマンス	236

保存設定		
	コマ NO.	238
	処理前画像記録	239
	ファイル名編集	239
	カードスロット設定 (静止画記録)	240
	スロット切り替え (順次記録時)	240
	動画記録先	241
	著作権情報	241
接続設定		
	ワイヤレス設定	242
	PC 保存先設定	243
	位置情報設定	244
	instax プリンター接続設定	244
	PC 撮影モード	245
	情報表示	246



目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
章目次	iii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	v
セットアップメニュー	vi
目次	viii
付属品一覧	xx
本書について	xxi
本書で使われている記号について	xxi
画面のイラストや写真について	xxi
表記について	xxii

1 このカメラの概要

1

各部の名称と機能	2
セレクターボタン	4
フォーカスレバー	4
シャッタースピードダイヤル / 感度ダイヤル	5
ドライブダイヤル	5
測光ダイヤル	6
露出補正ダイヤル	6
コマンドダイヤル	7
インジケータランプ	9
液晶モニター	10
視度調節ダイヤル	11
アイカップ	11

撮影時の表示画面	12
EVF の表示画面	12
LCD の表示画面	14
EVF と LCD の切り替え	16
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整	17
縦表示について	17
情報表示の切り替え	18
2 画面について	19
「スタンダード」画面のカスタマイズ	20
メニューの使い方	23

2 撮影の準備 25

ストラップを取り付ける	26
レンズを取り付ける	28
バッテリーを充電する	30
バッテリーを入れる	34
メモリーカードを入れる	37
2 枚のメモリーカードを使用する場合	39
使用可能なメモリーカード	40
電源をオンにする / オフにする	42
バッテリー残量の表示	43
初期設定を行う	44
言語を変更する	46
日時を変更する	46

3	基本的な撮影と再生	47
	プログラムで静止画を撮影する	48
	▶ 静止画を再生する	51
	画像を消去する	52
4	動画の撮影と再生	53
	📹 動画を撮影する	54
	動画の設定について	57
	▶ 動画を再生する	58
5	撮影に関する設定	61
	P、S、A、Mで撮影する	62
	プログラム (P) 撮影	62
	シャッタースピード優先 (S) 撮影	64
	絞り優先 (A) 撮影	69
	マニュアル (M) 撮影	72
	オートフォーカス撮影	74
	フォーカスモード	75
	AFモードの選択	77
	フォーカスエリアの変更	79
	マニュアルフォーカス撮影	84
	ピントの確認方法	86
	ISO ISO感度を変更	88
	A (オート) 設定について	89
	☺ 測光モードを変更	91
	☑ 露出補正	92
	C (カスタム) について	92

AE/AF ロック撮影.....	93
ボタンによる AE/AF ロック	94
BKT ブラケット撮影	95
AE ブラケット撮影	96
ISO ブラケット撮影	96
フィルムシミュレーション BKT	96
ホワイトバランス BKT	97
ダイナミックレンジ BKT	97
連続撮影 (連写)	98
多重露出撮影	100
ADV. アドバンストフィルター撮影	102
アドバンストフィルターの種類	103
パノラマ撮影	104
フラッシュ撮影	108
フラッシュ機能設定	110

6 撮影メニュー 113

IQ 撮影メニュー (画質設定)	114
画像サイズ	115
画質モード	116
RAW 記録方式	117
フィルムシミュレーション	118
グレイン・エフェクト	120
ダイナミックレンジ	121
ホワイトバランス	122
ハイライトトーン	126
シャドウトーン	126
カラー	127

シャープネス	127
ノイズリダクション	128
長秒時ノイズ低減	128
画像復元処理	129
色空間	129
ピクセルマッピング	130
カスタム選択	131
カスタム登録 / 編集	131
撮影メニュー (フォーカス設定)	133
フォーカスエリア選択	133
AF モード	134
AF-C カスタム設定	135
縦 / 横位置 AF モード切替	139
AF ポイント表示 	139
フォーカス点数切り替え	140
プリ AF	140
AF 補助光	141
顔検出 / 瞳 AF 設定	141
AF+MF	143
MF アシスト	144
フォーカスチェック	145
測光 & フォーカスエリア連動	145
ワンプッシュ AF 時の動作	146
被写界深度スケール	146
レリーズ優先 / フォーカス優先	147

📷 撮影メニュー（撮影設定）	148
ドライブ設定.....	148
セルフタイマー.....	151
インターバルタイマー撮影.....	152
シャッター方式.....	154
ブレ防止モード.....	155
感度 AUTO 設定.....	156
マウントアダプター設定.....	157
ワイヤレス通信.....	160
📷 撮影メニュー（フラッシュ設定）	161
フラッシュ機能設定.....	161
赤目補正.....	162
TTL-LOCK モード.....	163
LED ライト設定.....	164
MASTER 設定.....	165
CH 設定.....	165
📹 撮影メニュー（動画設定）	166
動画モード.....	166
動画 AF モード.....	167
HDMI 出力情報表示.....	167
4K 映像出力先.....	168
HDMI レックコントロール.....	169
マイクレベル設定.....	169

7 画像の再生と再生メニュー

171

再生時の表示画面	172
情報表示の切り替え	174
再生方法	176
再生ズーム	177
マルチ再生	177
再生メニュー	178
スロット切り替え	178
RAW 現像	179
消去	182
トリミング	185
リサイズ	186
プロテクト	187
画像回転	188
赤目補正	189
ボイスメモ設定	190
画像コピー	191
ワイヤレス通信	192
スライドショー	193
フォトブックアシスト	194
PC 保存	196
プリント予約 (DPOF)	197
instax プリンタープリント	199
表示比率	200

8 セットアップメニュー 201

☑ セットアップメニュー (基本設定).....	202
フォーマット	203
日時設定	204
世界時計	205
言語/LANG.....	206
マイメニュー設定.....	206
センサークリーニング	208
リセット	209
☑ セットアップメニュー (音設定)	210
AF 合焦音量.....	210
セルフタイマー音量	211
操作音量	211
ヘッドホン音量	212
シャッター音量	212
シャッター音	213
再生音量	213
☑ セットアップメニュー (表示設定).....	214
EVF 明るさ	214
EVF 鮮やかさ	215
LCD 明るさ	215
LCD 鮮やかさ	216
撮影画像表示	216
縦横自動回転表示.....	217
マニュアル時モニター露出/WB 反映.....	217
モニター撮影効果反映	218
フレーミングガイド	219

縦横自動回転再生.....	220
距離指標の単位.....	220
2画面モード表示設定.....	221
画面のカスタマイズ.....	221
🔧 セットアップメニュー（操作ボタン・ダイヤル設定）	223
フォーカスレバー設定.....	223
クイックメニュー登録 / 編集.....	224
Fn/AE-L/AF-L ボタン設定.....	226
セレクターボタン設定.....	228
コマンドダイヤル設定.....	228
🔊 S.S. 操作設定	229
感度ダイヤル設定（H）.....	229
感度ダイヤル設定（L）.....	230
感度ダイヤル設定（A）.....	230
半押し AF.....	231
半押し AE.....	231
レンズなしリリース.....	232
カードなしリリース.....	232
フォーカスリング.....	233
AE/AF-LOCK 設定.....	233
絞り設定.....	234
ロック.....	234
🔧 セットアップメニュー（消費電力設定）	235
自動電源 OFF.....	236
パフォーマンス.....	236

■ セットアップメニュー（保存設定）	237
コマ NO.	238
処理前画像記録	239
ファイル名編集	239
カードスロット設定（静止画記録）	240
スロット切り替え（順次記録時）	240
動画記録先	241
著作権情報	241
■ セットアップメニュー（接続設定）	242
ワイヤレス設定	242
PC 保存先設定	243
位置情報設定	244
instax プリンター接続設定	244
PC 撮影モード	245
情報表示	246
9 ショートカット機能	247
ショートカット機能について	248
Q（クイックメニュー） ボタン	249
設定の確認と変更	251
クイックメニューの割り当て変更	252
Fn（ファンクション） ボタン	254
ファンクションボタンの割り当て変更	256
MY マイメニュー	258
マイメニュー設定	258

10 オプション品・外部機器の使い方 261

クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル	262
クリップオンフラッシュ・シンクロターミナルを 設定する	263
シンクロターミナル	265
同梱フラッシュ	267
クリップオンフラッシュ	269
MASTER (光通信)	273
縦位置パワーブースターグリップ	279
パワーブースターグリップの使い方	280
パワーブースターグリップの充電方法	282
交換レンズ	283
レンズの各部名称	283
レンズキャップの取り外し方	284
レンズフードの取り付け方	284
絞りリング付きレンズについて	285
絞りリングなしレンズについて	286
手ブレ補正対応レンズについて	286
フォーカスリングの移動により MF 撮影が 可能なレンズについて	287
交換レンズのお手入れ	288

11 他機器との接続 289

HDMI 出力	290
撮影画面の出力	290
再生画面の出力	290

無線 LAN 機能で接続.....	292
スマートフォンと通信.....	292
パソコンに画像を保存.....	293
USB ケーブルでパソコンと接続.....	294
PC 撮影機能を使用する.....	294
メモリーカードに撮影した画像を転送する.....	295
カメラとパソコンを接続する.....	296
instax SHARE プリンターと接続.....	299
プリンターとの接続を設定する.....	299
画像をプリントする.....	300

12 資料 301

カメラで使えるアクセサリ.....	302
別売アクセサリ.....	302
お取り扱いにご注意ください.....	305
お手入れについて.....	322
センサークリーニング.....	323
ファームウェア更新情報.....	324
ファームウェアバージョンの確認方法.....	324
トラブルシューティング / FAQ.....	325
警告表示.....	337
標準撮影枚数 / 記録時間.....	344
主な仕様.....	345
索引.....	351
ソフトウェアのお問い合わせ.....	359
アフターサービスについて.....	360

付属品一覧

ご使用の前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W126S (1 個)
- バッテリーチャージャー BC-W126 (1 式)
- クリップオンフラッシュ EF-X8 (1 個)
- ボディキャップ (1 式)
- ストラップリング (2 個)
- ストラップリング取り付け補助具 (1 個)
- ストラップリングカバー (2 枚)
- ショルダーストラップ (1 本)
- ホットシューカバー (1 個) (端子保護用、本体に装着)
- シンクロターミナルキャップ (1 個) (本体に装着)
- 縦位置パワーブースターグリップ用端子カバー (1 個) (本体に装着)
- 使用説明書 (本書)
- 保証書 (1 部)






レンズキットをお買い上げいただいたときは、交換レンズが付属していることをご確認ください。

本書について

この説明書には、フジフィルムデジタルカメラ X-T2 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について

-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

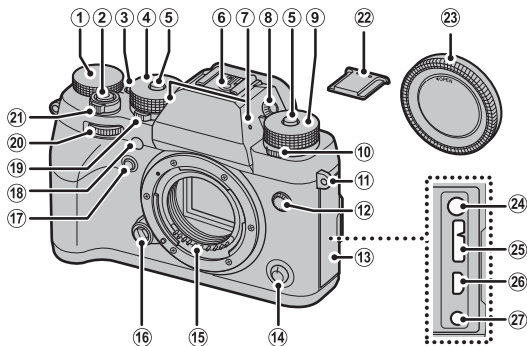
- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

表記について

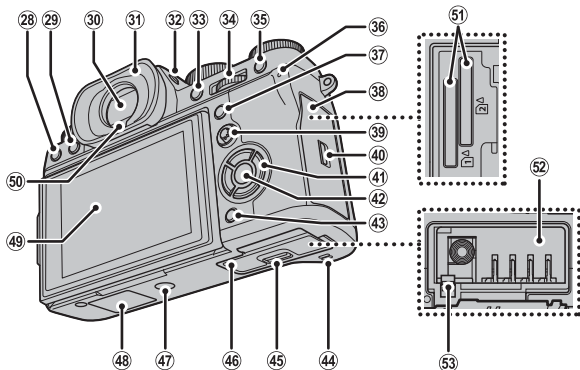
- このカメラでは、市販のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「**メモリーカード**」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ファインダーを「**EVF**」、液晶モニターを「**LCD**」と表記する場合があります。

このカメラの概要

各部の名称と機能



- | | |
|----------------------------------|--|
| ① 露出補正ダイヤル 6、92 | ⑬ 端子カバー |
| ② シャッターボタン 50 | ⑭ フォーカスモード切換レバー 75 |
| ③ Fn1 ボタン 254 | ⑮ レンズ信号接点 |
| ④ シャッタースピードダイヤル
..... 5、64、72 | ⑯ レンズ着脱ボタン 29 |
| ⑤ ダイヤルロック解除ボタン 5 | ⑰ Fn2 ボタン 254 |
| ⑥ ホットシュー 108 | ⑱ AF 補助光ランプ 141 |
| ⑦ マイク 169 | ⑲ セルフタイマーランプ 151 |
| ⑧ 視度調節ダイヤル 11 | ⑳ 測光ダイヤル 6、91 |
| ⑨ 感度ダイヤル 5、88、229 | ㉑ フロントコマンドダイヤル
..... 7、228 |
| ⑩ ドライブダイヤル 5 | ㉒ 電源レバー 42 |
| ⑪ ストラップ取り付け部 26 | ㉓ ホットシューカバー 108 |
| ⑫ シンクローターミナル 265 | ㉔ ポディキャップ 28 |
| ⑬ 端子カバー | ㉕ マイク端子 (φ 3.5) 55 |
| ⑭ フォーカスモード切換レバー 75 | ㉖ マイクロ USB 端子 (Micro-B)
USB3.0/USB2.0 33、68、296 |
| ⑮ レンズ信号接点 | ㉗ HDMI マイクロ端子 (Type-D)
..... 290 |
| | ㉘ リモートリリース端子 (φ 2.5)
..... 68 |




- | | | | | | |
|----|--------------------------|----------------|----|------------------------------|------------------|
| ②8 | ☒ (消去) ボタン |52 | ④1 | セレクターボタン |4、228 |
| ②9 | ▶ (再生) ボタン |51 | ④2 | MENU/OK (メニュー/決定) ボタン |4、13、15、23 |
| ③0 | ファインダー (EVF) |12、16、17 | ④3 | DISP/BACK (表示/戻る) ボタン |18、174 |
| ③1 | アイカップ |11 | ④4 | スピーカー |58 |
| ③2 | VIEW MODE ボタン |16 | ④5 | バッテリーカバーロック |34 |
| ③3 | AE-L (AE ロック) ボタン |94 | ④6 | バッテリーカバー |34 |
| ③4 | リアコマンドダイヤル |7、176、228 | ④7 | 三脚用ねじ穴 | |
| ③5 | AF-L (AF ロック) ボタン |94 | ④8 | 縦位置パワーブースター
グリップ用端子カバー |279 |
| ③6 | インジケータランプ |9、33 | ④9 | 液晶モニター (LCD) |10、14、16、17 |
| ③7 | Q (クイックメニュー) ボタン |249 | ⑤0 | アイセンサー |16 |
| ③8 | メモリーカードスロットカバー |37 | ⑤1 | メモリーカードスロット 1、2 |37 |
| ③9 | フォーカスレバー |4、80、223 | ⑤2 | バッテリー挿入部 |34 |
| ④0 | メモリーカードスロットカバー
ロック |37 | ⑤3 | バッテリー取り外しつまみ |36 |

セレクトボタン

▲▼◀▶（上下左右）ボタンを押してメニューなどの項目を選択できます。

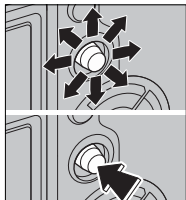


撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に  が表示され、セレクトボタンと **Q** ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、**MENU/OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

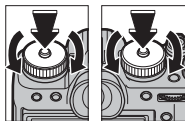
フォーカスレバー

フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。



シャッタースピードダイヤル / 感度ダイヤル

シャッタースピード（**S.S.**）ダイヤルや感度ダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押して、ロックを解除してからダイヤルを回します。ロック解除ボタンをもう一度押すと、ダイヤルがロックされます。

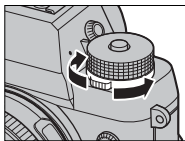



感度
ダイヤル



S.S.
ダイヤル

ドライブダイヤル

ドライブダイヤルで、ドライブモードを選択できます。

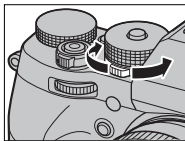


ドライブモード		📖
 動画		54
BKT	ブラケットिंग	95
CH	高速連写	98
CL	低速連写	
S	1コマ撮影	48

ドライブモード		📖
 多重露出		100
ADV.	アドバンスフィルター	102
 パノラマ		104

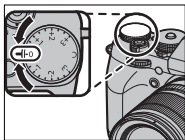
測光ダイヤル

測光ダイヤルで、測光モードを設定できます。



露出補正ダイヤル

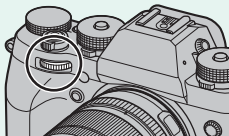
露出補正ダイヤルで、露出を補正できます。





コマンドダイヤル

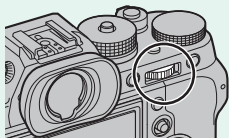
フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

フロントコマンドダイヤル



 回転	<ul style="list-style-type: none"> メニュータブ、ページの切り替え 絞り値の変更 露出補正（露出補正ダイヤルが C の位置時） 前後の画像を表示（再生時）
 中央押し	<ul style="list-style-type: none"> 絞り値と露出補正の機能の切り替え（露出補正ダイヤルが C の位置時）

リアコマンドダイヤル



回転

- メニュー項目の選択
- プログラムシフト
- シャッタースピードの変更
- クイックメニューの設定値を変更
- フォーカスエリアのサイズ変更
- 画像を再生ズーム（再生時）
- 画像をマルチ再生（再生時）



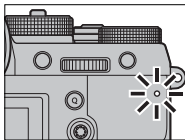
中央押し

- ファンクション（ダイヤル）ボタン
- ピント位置拡大表示*
- マニュアルフォーカス時に長押しで、**MFアシスト**の設定切り替え*
- ピント位置拡大表示（再生時）

* ファンクションボタンに**フォーカスチェック**が割り当てられているときのみ

インジケータランプ

インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



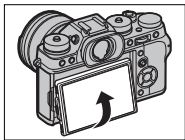
インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。



- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーをのぞいているときは、インジケータランプは点灯 / 点滅しません。

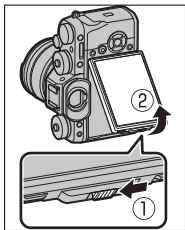
液晶モニター


液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。

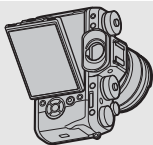


縦向きチルトについて

このカメラでは、縦向きにしたときも縦方向に液晶モニターをチルトできます。図のようにレバーを動かし、見やすい角度に調整してください。縦位置（ローアングル/ハイアングル）撮影に便利です。

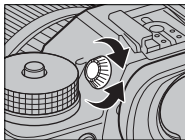


 縦位置のハイアングル撮影では図のようにカメラを持ち替えると撮影しやすくなります。



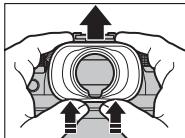
視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。調節できる視度の範囲は $-4 \sim +2 \text{ m}^{-1}$ (dpt) です。



アイカップ

アイカップを取り外すときは、両手でアイカップの下部を押さえて、上に引き上げてください。



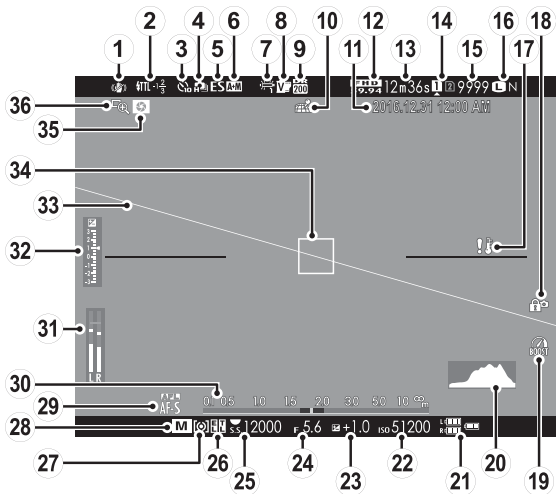
撮影時の表示画面

撮影時は、ファインダー（EVF） / 液晶モニター（LCD）に次の情報が表示されます。



説明のため情報はすべて表示しています。

EVF の表示画面




① プレ防止	155	⑱ ブーストモード	236
② フラッシュ (TTL モード)	110	⑳ ヒストグラム	22
調光補正	110	㉑ バッテリー残量表示	43
③ セルフタイマー	151	㉒ ISO 感度	88
④ 連写モード	98	㉓ 露出補正	92
⑤ シャッター方式	154	㉔ 絞り値	63、69、72
⑥ AF+MF	143	㉕ シャッタースピード	63、64、72
⑦ ホワイトバランス	122	㉖ AE ロック	94、231
⑧ フィルムシミュレーション	118	TTL ロック	163、227、257
⑨ ダイナミックレンジ	121	㉗ 測光モード	91
⑩ 位置情報取得状態	244	㉘ 撮影モード	62
⑪ 日付・時刻	44、204、205	㉙ フォーカスモード*2	75
⑫ 動画モード	54、166	㉚ 距離指標バー	86
⑬ 動画撮影の残り時間	54	㉛ マイクレベル	169
⑭ カードスロット設定	39、240	㉜ 露出インジケータ	72、92
⑮ 撮影可能枚数*1	344	㉝ 電子水準器	21
⑯ 画像サイズ	115	㉞ AF フレーム	79、93
画質モード	116	㉟ 被写界深度確認	70、86
⑰ 温度警告	343	㊱ フォーカスチェック	86、145
⑱ ボタンロック	4		

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

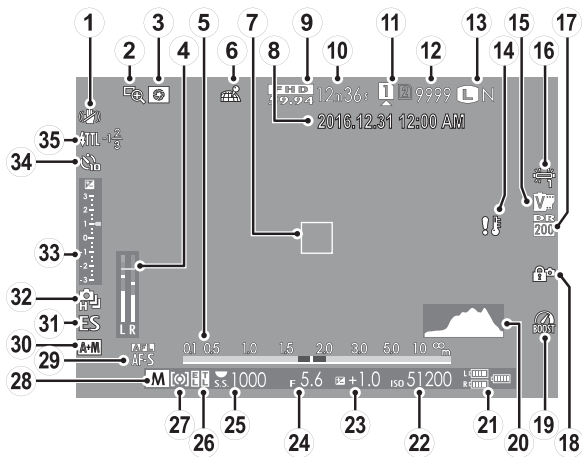
*2 撮影状況によっては ㉙ の位置には (●) (合焦マーク) または MF (マニュアルフォーカス) が表示される場合があります。

撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます。




LCD の表示画面




① プレ防止	155	⑩ ブーストモード	236
② フォーカスチェック	86、145	⑪ ヒストグラム	22
③ 被写界深度確認	70、86	⑫ バッテリー残量表示	43
④ マイクレベル	169	⑬ ISO 感度	88
⑤ 距離指標バー	86	⑭ 露出補正	92
⑥ 位置情報取得状態	244	⑮ 絞り値	63、69、72
⑦ AF フレーム	79、93	⑯ シャッタースピード	63、64、72
⑧ 日付・時刻	44、204、205	⑰ AE ロック	94、231
⑨ 動画モード	54、166	⑱ TTL ロック	163、227、257
⑩ 動画撮影の残り時間	54	⑲ 測光モード	91
⑪ カードスロット設定	39、240	⑳ 撮影モード	62
⑫ 撮影可能枚数*1	344	㉑ フォーカスモード*2	75
⑬ 画像サイズ	115	㉒ AF+MF	143
画質モード	116	㉓ シャッター方式	154
⑭ 温度警告	343	㉔ 連写モード	98
⑮ フィルムシミュレーション	118	㉕ 露出インジケーター	72、92
⑯ ホワイトバランス	122	㉖ セルフタイマー	151
⑰ ダイナミックレンジ	121	㉗ フラッシュ (TTL モード)	110
⑱ ボタンロック	4	調光補正	110

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

*2 撮影状況によっては ㉑ の位置には  (合焦マーク) または **MF** (マニュアルフォーカス) が表示される場合があります。

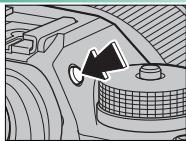
撮影時のボタンロックについて




MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます。



EVF と LCD の切り替え

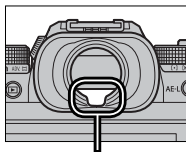
VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）の表示が以下のように切り替わります。



設定	内容
 アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY + 	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。
 アイセンサー + LCD 撮影画像表示	撮影時はファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、自動的にファインダー表示になり、撮影後の確認画像の表示は液晶モニターになります。

アイセンサーについて

目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。



アイセンサー

EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

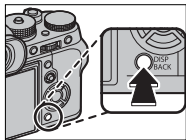
屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定** > **EVF 明るさ**、**EVF 鮮やかさ**でファインダー（EVF）の明るさや鮮やかさを調整し、**表示設定** > **LCD 明るさ**、**LCD 鮮やかさ**で液晶モニター（LCD）の明るさや鮮やかさを調整します。

縦表示について

カメラを縦向きで撮影するときは、**表示設定** > **縦横自動回転表示**を **ON** にすると、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の情報表示が縦向きになります。

情報表示の切り替え

撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



ファインダー (EVF)

フル



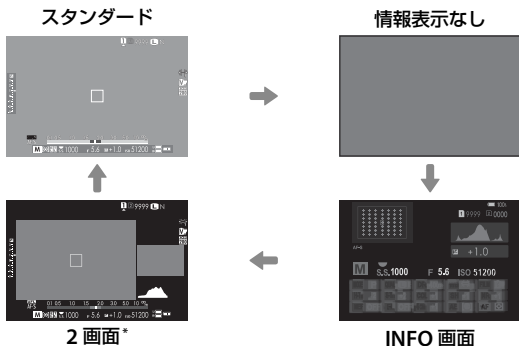
ノーマル



2画面*

* 「2画面」が表示されるのはマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のみです。


液晶モニター (LCD)




* 「2画面」が表示されるのはマニュアルフォーカス時(フォーカスモードが **M** のとき) のみです。

2画面について


「2画面」表示では、撮影画面全体を表示する親画面（大きい画面）とピントを合わせた位置を拡大表示する子画面（小さい画面）の2画面を表示します。

 「2画面」の表示は、**表示設定 > 2画面モード表示設定**で、親画面と子画面に表示する内容を入れ替えることができます。



「スタンダード」画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、 **表示設定** > **画面のカスタマイズ**で選択できます。

1 「スタンダード」画面になるまで**DISP/BACK**ボタンを押します。

2 セットアップメニューから **表示設定** > **画面のカスタマイズ**を選びます。

3 表示したい項目を選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

画面に表示する項目には、 が表示されます。 が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

- フレーミングガイド
- 電子水準器
- AF フレーム
- AF 時の距離指標
- MF 時の距離指標
- ヒストグラム
- 撮影モード
- 絞り / シャッター速度 / ISO
- 情報表示背景
- 露出補正表示
- 露出補正ゲージ
- フォーカスモード
- 測光
- シャッター方式
- フラッシュ
- 連写モード
- プレ防止
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ブーストモード
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ & 画質モード
- 動画モード & 録画時間
- マイクレベル
- バッテリー残量表示
- 画面枠

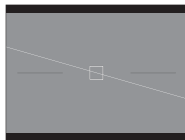
4 各項目を設定し、DISP/BACKボタンを押します。

設定が保存されます。

5 DISP/BACKボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。

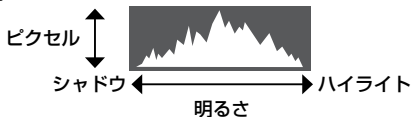


画面枠について

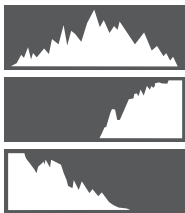
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに画面枠をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。



- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



メニューの使い方

MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。

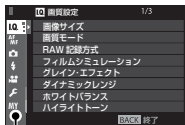


使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。









- 1 MENU/OKボタンを押して、メニューを表示します。




- 2 ◀でタブ選択に移ります。



タブ

3 ▲または**▼**で使用する項目のメニュータブ（///
////）を選びます。

4 ▶でメニューに戻ります。

 メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでページの切り替えができます。

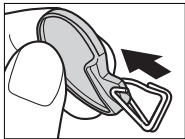
撮影の準備


2

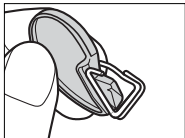
ストラップを取り付ける

カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

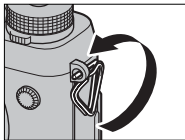
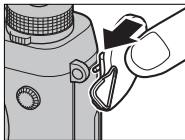
- 1 ストラップリング取り付け補助具を使ってストラップリングの切りこみを広げます。



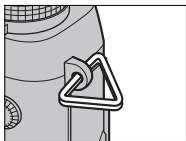
-  ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。



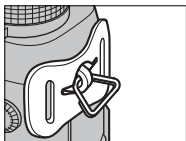
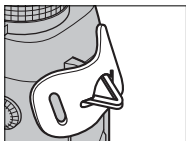
- 2 ストラップリングの切りこみをストラップ取り付け部に引っ掛けて、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



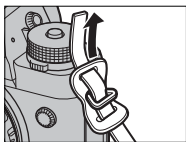
- 3** ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



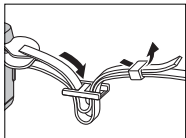
- 4** ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。



- 5** ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通し、ストラップを止め具に通します。



! ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

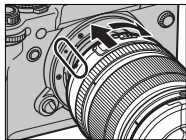


反対側も同様に、手順 1～5 を繰り返して取り付けます。

レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応のレンズが使用できます。

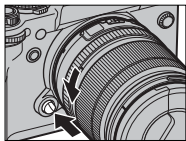
カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせてレンズを回し、カメラにレンズを取り付けます。



- レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。
- カメラ内部には触れないでください。
- 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ着脱ボタンを押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ着脱ボタンを押して矢印の方向にレンズを回してください。



! レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。

別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応のレンズやアクセサリーが使用できます。

バッテリーを充電する

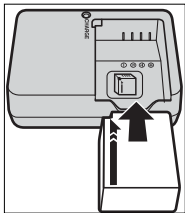
ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。



- このカメラに付属されているバッテリーは NP-W126S です。別売の NP-W126 もご使用になれますが、長時間使用する場合は NP-W126S のご使用をおすすめします。
- 充電時間は約 150 分です。

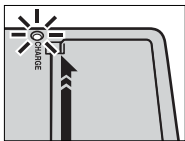
1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

図のように、指標（矢印）の位置がバッテリーチャージャー内部のイラストと合っていることをご確認ください。



2 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。

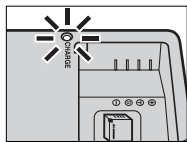
充電ランプが点灯して、充電を始します。



3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

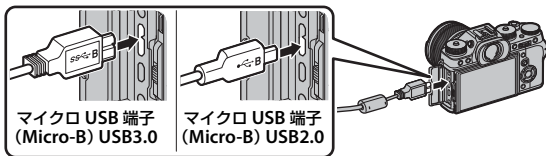


充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください。
	フル充電 (充電終了)	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。

- 付属の AC コードは、バッテリーチャージャー BC-W126 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。
- 付属の充電器は 100 ~ 240V まで対応しており、海外でもご使用いただけます。変換プラグアダプターが必要な場合がありますので、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ~ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。

パソコンに接続してバッテリーを充電する

カメラにバッテリーを入れた状態でパソコンに接続すると、バッテリーを充電できます。カメラの電源はオフにして、USBケーブルでパソコンと接続してください。



- インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

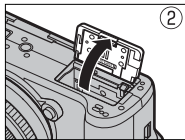
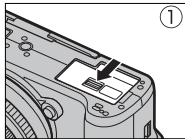
- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 充電時間は約 5 時間です。USB3.0 と USB2.0 のどちらのケーブルを使用しても充電時間は変わりません。

バッテリーを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

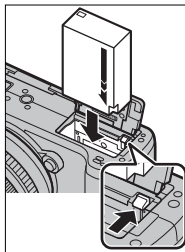
- ❗ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



2 バッテリーを入れます。

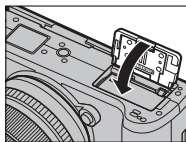
図のように金色の端子を下にして、バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

- ❗ バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。



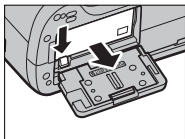
3 バッテリーカバーを閉めます。

! バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

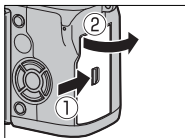


- ⚠ 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

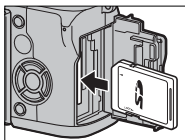
メモリーカードを入れる

撮影した画像は、市販のメモリーカードに記録します。

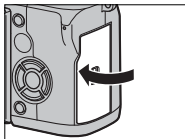
- 1 メモリーカードスロットカバーロックをスライドさせて、メモリーカードスロットカバーを開けます。



- 2 メモリーカードを入れます。



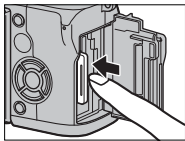
- 3 メモリーカードスロットカバーを閉めます。



- ❗ カメラの電源がオンになっているときは、メモリーカードスロットカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからメモリーカードスロットカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を放すと、ロックが外れて取り出せます。



- ❗ メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
- メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

2枚のメモリーカードを使用する場合

このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。静止画のメモリーカードへの記録方法は、**保存設定 > カードスロット設定（静止画記録）**で変更できます。

設定	説明	画面表示
順次記録 (工場出荷時 設定)	スロット1のメモリーカードの空きがなくなったら、スロット2のメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。 保存設定 > スロット切り替え（順次記録時） で最初に記録するカードをスロット2に設定しているときは、スロット2のメモリーカードの空きがなくなったらスロット1のメモリーカードに切り替わります。	
バックアップ 記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。	
RAW/JPEG 分割記録	スロット1のメモリーカードにはRAW画像を、スロット2のメモリーカードにはJPEG画像をそれぞれ保存します。この設定は 画質設定 > 画質モード が、 FINE+RAW または NORMAL+RAW のときのみ有効です。	

動画の記録先スロットは、**保存設定 > 動画記録先**で変更できます。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- このカメラでは、UHS-II のメモリーカードに対応しています。
- 動画撮影をするときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

! ● メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

- メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



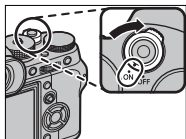


- 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法がSDメモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



! レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- 📺** 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。**⚙️ 消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



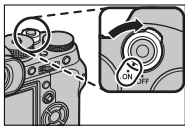
表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80%です。
	バッテリーの残量は約 60%です。
	バッテリーの残量は約 40%です。
	バッテリーの残量は約 20%です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。

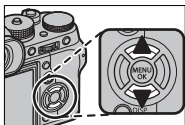
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



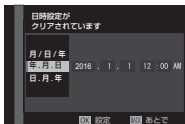
2 言語を設定します。

▲▼ で使用する言語を選び、
MENU/OK ボタンを押します。



3 年月日の並び順を設定します。

▲▼ で年月日の並び順を選びます。



4 年、月、日、時、分を設定します。

◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。



5 MENU/OKボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。



バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

設定の途中で **DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 > 言語/LANG.を選びます。

2 言語を設定します。

▲▼ で使用する言語を選びます。

3 MENU/OKボタンを押します。

設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 > 日時設定を選びます。

2 日時を設定します。

◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、

▲▼ で設定する数字を選びます。


3 MENU/OKボタンを押します。

日時が設定されます。

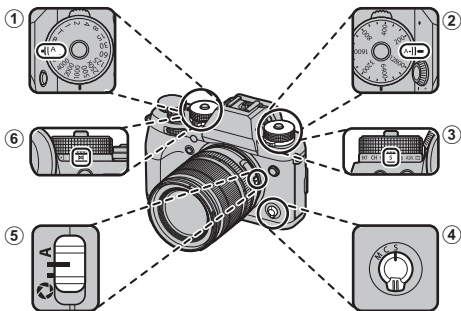
基本的な撮影と再生


3

プログラムで静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）モードによる撮影の基本的な流れを説明します。その他のモードの撮影方法は「P、S、A、Mで撮影する」をご覧ください（ 62）。

1 カメラの設定をプログラム（P）撮影の設定にします。



設定		
① シャッタースピード	A（オート）	62
② ISO 感度	A（オート）	88
③ ドライブモード	S（1コマ撮影）	5
④ フォーカスモード	S（AF-S）	75
⑤ 絞り設定	A（オート）	62
⑥ 測光モード	 （マルチ）	91



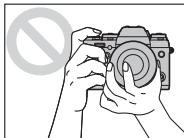
シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

- 2** 撮影画面にPが表示されていることを確認します。



- 3** カメラを構えます。

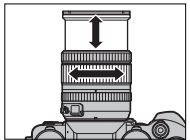
- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



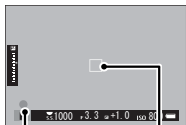
- 4** 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



5 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



合焦マーク
フォーカスフレーム

- **ピントが合うと**、ピピッと音が鳴り、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- **ピントが合わないときは**、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



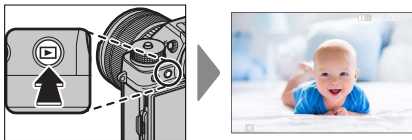
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。


▶ 静止画を再生する

撮影した画像を再生します。

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。


- ▶ フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できません。
- ▶ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりするときがあります。

再生するメモリーカードについて

▶ ボタンを長押しすると、再生するメモリーカードを切り替えることができます。再生メニュー > スロット切り替えからも再生するメモリーカードの切り替えができます。




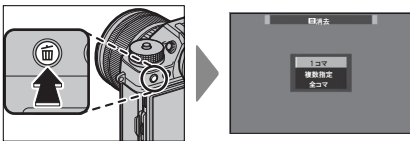
画像を消去する

1 コマ再生時に  ボタンを押すと、画像を消去できます。



誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1 1コマ再生中に  ボタンを押して、1コマを選びます。



2 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。



- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (📖 187)。
- **再生メニュー** > **消去** でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **再生メニュー** > **消去** をご覧ください (📖 182)。

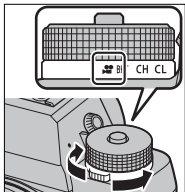
4 動画の撮影と再生



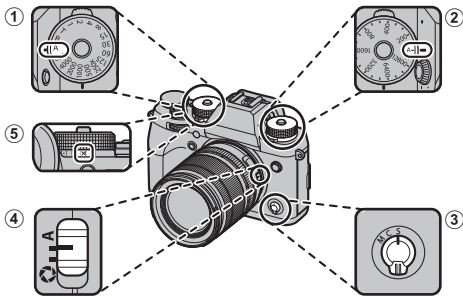
動画を撮影する

ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。

- 1 ドライブダイヤルを (動画) に合わせます。



- 2 カメラの設定をプログラム (P) 撮影の設定にします。

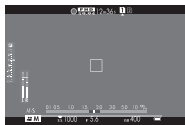


設定		
① シャッタースピード	A (オート)	62
② ISO 感度	A (オート)	88
③ フォーカスモード	S (AF-S)	75
④ 絞り設定	A (オート)	62
⑤ 測光モード	(マルチ)	91

3 シャッターボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、●が表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）が表示されます。

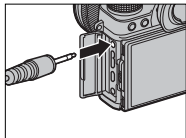


4 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクのプラグはバスパワーを必要としないφ 3.5mm ピンで取り付けものをご使用ください。詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。





- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。



- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。
- ズームリングがあるレンズを使用している場合は、動画撮影中もズームリングでズーム操作が行えます。
- 絞りモードスイッチの設定 (**A** または **A** 以外) は、動画撮影前に行ってください。絞りモードスイッチが **A** 以外のときは、動画撮影中もシャッタースピードや絞り値の設定を変更できません。
- 動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は±2の範囲となります。
- 動画撮影中に感度を変更できます。
- 動画撮影中に **VIEW MODE** ボタンの操作で、アイセンサーの働きによる EVF と LCD の自動表示切り替えを行えます。
- 動画撮影中はシャッターボタンを半押しするか、**AF-ON** を割り当てたボタンを押して、AF のやり直しができます。
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。

動画の設定について


- 撮影メニューの **📹 動画設定** で動画の種類や動画サイズ、フレームレートなどを変更できます。
- 動画を記録するメモリーカードは **📁 保存設定 > 動画記録先** で変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換レバーで設定します。フォーカスモードを **S** にしても、**👤 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定** の顔検出が **ON** のときは、自動的に **C** (コンティニユアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、顔検出を **ON** にしても顔検出は行われません。

背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。

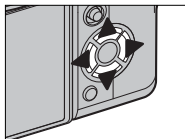
▶ 動画を再生する


撮影した動画をカメラで再生します。

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。




動画再生時の操作は、セレクターボタン（▲▼◀▶）で行います。



	 再生中	 一時停止中
▲ (上)	一時停止	再生
▼ (下)	再生速度	コマ送り
◀▶ (左右)	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



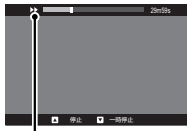
 スピーカーを指などでふさがらないでください。音が聞き取りにくくなります。



再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量**でも設定できます。

動画の再生速度について

◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。



再生アイコン

MEMO

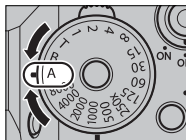
5 撮影に関する設定

P、S、A、Mで撮影する

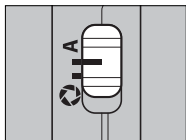
シャッタースピードと絞り値の設定を変更してP、S、A、Mで撮影します。

プログラム (P) 撮影

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。



シャッタースピード



絞り設定

設定	
シャッタースピード	A (オート)
絞り設定	A (オート)



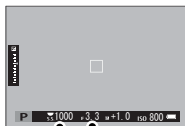
表示画面に **P** が表示されます。

! 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

🔧 シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



絞
り
値
↑
↑
シャッタースピード



次のとき、プログラムシフトは使用できません。

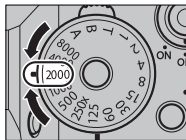
- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
- **画質設定 > ダイナミックレンジが AUTO** のとき
- 動画を撮影しているとき



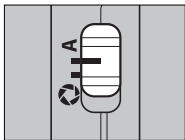
電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

シャッタースピード優先 (S) 撮影

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。



シャッタースピード



絞り設定

設定	
シャッタースピード	任意 (自分で設定)
絞り設定	A (オート)



表示画面に **S** が表示されます。

- ❗ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。

- 📄 シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
- リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを $\frac{1}{3}$ 段きざみで微調整できます
- シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードを変更できます。

シャッタースピード優先で ISO 感度を調整してみよう！

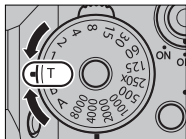
シャッタースピード優先でシャッタースピードをできるだけ高速側に設定し、ISO 感度を手動で設定します。低感度に設定していると、シャッタースピードを高速側に設定しているので、十分な光を取り込むため、絞りは自動的に開放寄りで撮影されます。ただし、被写界深度が浅くなりピントの合う範囲が狭くなる場合があります。このときに ISO 感度を高感度側に設定することで、お好みのシャッタースピードを保ちつつ、絞りをコントロールすることができ、被写界深度を深く調節できます。



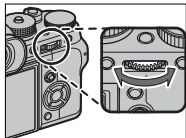
タイム撮影 (T)

シャッタースピードダイヤルを**T**に設定すると、タイム撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。


- 1 シャッタースピードダイヤルを**T**に合わせます。



- 2 リアコマンドダイヤルで露光時間を設定します。



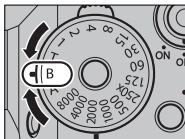
- 3 シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。
撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。

 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減**を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

バルブ撮影 (B)

シャッタースピードダイヤルを **B** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1 シャッタースピードダイヤルを **B** に合わせます。



- 2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。

- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。

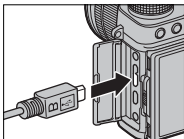


- 絞りを **A** (オート) に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

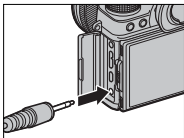
リモートレリーズを使用する

長時間露光撮影時には、リモートレリーズが便利です。

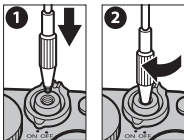
- 別売のリモートレリーズ RR-90 を使用するときは、マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB2.0 に取り付けます。



- 市販の電子式リモートレリーズを使用するときは、リモートレリーズ端子 (φ 2.5) に取り付けます。

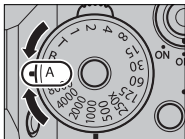


- 市販のメカニカルリモートレリーズは図のように取り付けます。

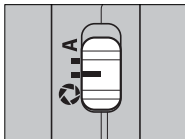


絞り優先 (A) 撮影

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。



シャッタースピード





絞り設定

設定	
シャッタースピード	A (オート)
絞り設定	☉ (自分で設定)

表示画面に **A** が表示されます。

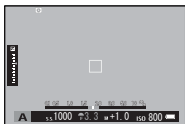


- 
 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。

- 
 シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
- 絞り値はレンズの絞りリングを回して設定します。
- シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、そのときの絞り値の被写界深度が確認できます。



被写界深度



- 「スタンダード」表示になるまで **DISP/BACK** ボタンを押すと、距離指標バーで被写界深度を確認できます。
- 被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を **フォーカス設定 > 被写界深度スケール** で設定できます。フィルム基準はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、ピクセル基準はパソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

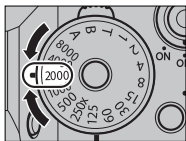
絞り優先で ISO 感度を調整してみよう！

絞り優先で絞りをできるだけ開放側に設定し、ISO 感度を手動で設定します。絞りを開けているので、十分な光を取り込むことができますため、シャッタースピードは自動的に高速寄りで撮影されます。ただし、低感度では被写体ブレを軽減するほどのシャッタースピードにならない場合があります。このときに ISO 感度を高感度側に設定することで、お好みの被写界深度を保ちつつ、シャッタースピードをコントロールすることができ、被写体ブレを軽減できます。

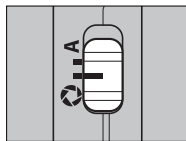


マニュアル (M) 撮影

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。



シャッタースピード

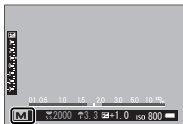


絞り設定

設定

シャッタースピード	任意（自分で設定）
絞り設定	☉（自分で設定）

表示画面に **M** が表示されます。



- シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
- 絞り値はレンズの絞りリングを回して設定します。
- リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを $\frac{1}{3}$ 段きざみで微調整できます。

露出設定プレビューについて

表示設定 > マニュアル時モニター露出 / WB 反映が **OFF** 以外のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。

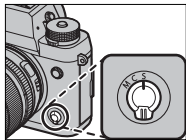
- フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、**マニュアル時モニター露出 / WB 反映**を **OFF** にしてください。




オートフォーカス撮影

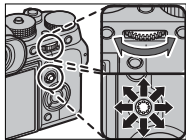
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1** フォーカスモード切換レバーをSまたはCに設定します (75) 。




- 2** 撮影メニューの  フォーカス設定 > AFモードからAFモードを選びます (77) 。

- 3** フォーカスエリアの位置やサイズを変更します (79) 。

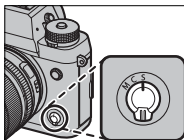


- 4** 撮影します。

 AF システムについては、以下のサイトも併せてご覧ください。
<http://fujifilm-x.com/af/ja/index.html>

フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換レバーで設定します。



フォーカスモードの種類

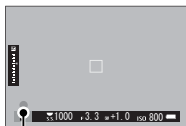
フォーカスモード	内容
S (AF-S)	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが1度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C (AF-C)	コンティニュアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
M (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (84)。



- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカス切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。
- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、**AF** フォーカス設定 > プリ AF を ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。
- フォーカスモードが **C** のときは、**AF** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の瞳 AF は機能しません。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。



合焦マーク

合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときにピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	C のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。

AF モードの選択


オートフォーカスモード（フォーカスモードが **S** または **C** のとき）と AF モードの組み合わせでさまざまな撮影シーンに応じたフォーカスエリアを選択できます。

AF モードの設定方法

1 MENU/OKボタンを押して、撮影メニューを表示します。




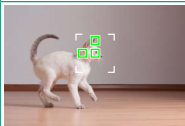
2  フォーカス設定 > AFモードを選びます。


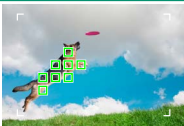




3 設定するAFモードを選びます。

 この設定はショートカット機能でも設定できます（[P.248](#)）。











AF モードの種類

● フォーカスモードが **S (AF-S)** のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を1点のスポットで捉えるモードで、基本的なAFモードです。フォーカスエリア選択で設定した1点のフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	

設定	用途例	作例
 ワイド/ トラッキング	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (80、81)、  シングルポイント、  ゾーン、  ワイド/トラッキングの順でフォーカスエリアを選択できます。	

● フォーカスモードが C (AF-C) のとき


設定	用途例	作例
 シングル ポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したピンポイントのフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向けた AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンの中央で捉えた被写体に、常にピントを合わせ続けます。	
 ワイド/ トラッキング	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (80、81)、  シングルポイント、  ゾーン、  ワイド/トラッキングの順でフォーカスエリアを選択できます。	

フォーカスエリアの変更

フォーカスモードが **S** または **C** のときのフォーカスエリアを変更できます。

フォーカスエリアの変更方法

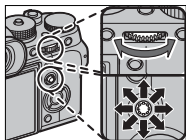
- 1** MENU/OKボタンを押して、撮影メニューを表示します。







- 2**  フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。

- 3** フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します (📖 80)。







フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。**AFモード**の設定によって操作が異なります。



AFモード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル	
				
	8方向移動	中央押し	回す	中央押し
	移動した方向にフォーカスエリアが移動	フォーカスエリアが中央に戻る	サイズ変更 (6段階)	100%に戻る
			サイズ変更 (3段階)	
			なし	



-  **トラッキング**のフォーカスエリアは、フォーカスモードがCのときのみ有効です。
- AFモード**が  **オール**の場合は、フォーカスエリアの選択画面を表示しているとき (81) にリアコマンドダイヤルを回すと、 **シングルポイント** (サイズ6段階)、 **ゾーン** (サイズ3段階)、 **ワイド** (AF-Sのとき) または  **トラッキング** (AF-Cのとき) の順でフォーカスエリアを選択できます。

フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。

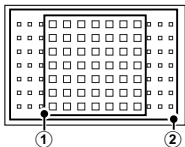


小さな四角 (□) ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。

□	□□	□□□
<p>AF フォーカス設定 > フォーカス点数切り替えでフォーカスエリアポイントの点数を 91 と 325 から選べます。</p>	<p>91 のフォーカスエリアポイントを 3×3、5×5、7×7 の範囲で選べます。</p>	<p>フォーカスエリアをトラッキングしたい被写体の位置に移動して、MENU/OK ボタンを押すと被写体にフォーカスエリアが設定されます。</p>

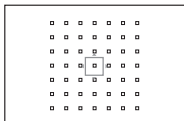
オートフォーカスが有効な範囲について

- ① インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF) と
 ② TTL コントラスト AF が有効な範囲は異なります。

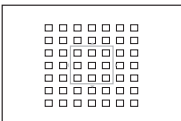


フォーカスエリアについて

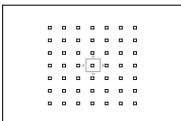
高速連写 (CH) でフォーカスモードが **C** のときは、選択できるフォーカスエリアが異なります。



シングルポイント



ゾーン



ワイド/トラッキング

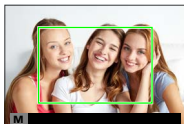
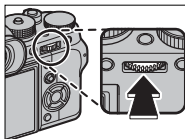
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合 (コントラストの強い背景の前にある被写体など)

拡大表示してピントを確認する

ファンクションボタンにフォーカスチェックが割り当てられているボタンを押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度ボタンを押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。工場出荷時の設定では、リアコマンドダイヤルの中央押しにフォーカスチェックが割り当てられています。



通常表示



拡大表示

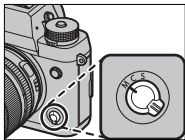


- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、**AF** フォーカス設定 > MF アシストでデジタルスプリットイメージを設定しているときは、倍率変更できません (144)。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AF** モードをシングルポイントに設定してください。
- フォーカスモードが **C** または **AF** フォーカス設定 > プリ AF が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **Fn/AE-L/AF-L ボタン設定** で他の機能に割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てすることもできます。

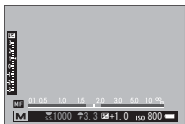
マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換レバーをMに設定します。

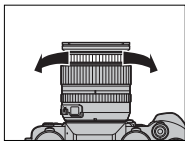


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。




- 3 撮影します。



- フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **フォーカスリング** で設定できます。
- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカス切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。

マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

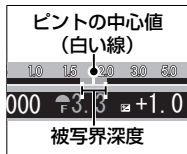
- **AF ロック**または **AF-ON** が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。この機能は、マニュアルフォーカスのときのみ使用できます。
-  **フォーカス設定 > ワンプッシュ AF 時の動作**で、**AF-L** 機能のファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S** (シングル AF) のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C** (コンティニュアス AF) のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。




拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

AF/MF フォーカス設定 > フォーカスチェックをONにすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

AF/MF フォーカス設定 > MFアシストの設定がフォーカスピーキングまたはスタンダードのときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。

画面に表示された画像で確認する

ピントの確認方法を **AF MF** フォーカス設定 > MFアシストのデジタルスプリットイメージまたはフォーカスピーキングから選べます。

 ファンクションボタンにフォーカスチェックが割り当てられているボタンを長押しすると、MFアシストの設定を切り替えることができます。

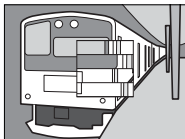
● フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



● デジタルスプリットイメージ

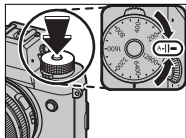
画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。



ISO ISO 感度を変更

光に対する ISO 感度を変更できます。

ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してから感度ダイヤルを回して、ISO 感度を設定します。ISO 感度を設定したらダイヤルロック解除ボタンをもう一度押して、ダイヤルをロックします。



ダイヤル設定	説明
A (オート)	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。☑ 撮影設定 > 感度 AUTO 設定で AUTO1、AUTO2、AUTO3 の設定を選びます。
12800 ~ 200	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H (25600/51200) L (100/125/160)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。



- 拡張感度の H は、☑ 操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (H) で 25600 または 51200 に設定できます。
- 拡張感度の L は、☑ 操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (L) で 100、125、160 のいずれかに設定できます。
- ☑ 操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (A) をコマンドに設定して ISO 感度を A にすると、フロントコマンドダイヤルで ISO 感度を変更できます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

A (オート) 設定について

☑ **撮影設定 > 感度 AUTO 設定**で感度ダイヤルを **A (オート)** に合わせたときの**基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界**を設定できます。**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3**にそれぞれ異なった値を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	12800 ~ 200	200		
上限 ISO 感度	12800 ~ 400	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/500 ~ 1/4 秒、 AUTO	1/60 秒		

基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。



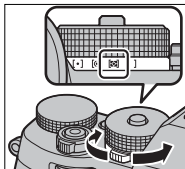
- **上限 ISO 感度**よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- **低速シャッター限界**を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します（手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません）。この時のシャッタースピードの目安は、「1/ 焦点距離」秒になります。



測光モードを変更

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

測光ダイヤルで、使用する測光モードを設定します。



測光モードを変更するときは、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 OFF / 瞳 AF OFF にしてください。**

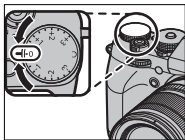
設定	説明
[•] (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
[⊙] (中央部重点)	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
[] (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、[] (マルチ) をおすすめします。
[] (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。



露出補正

画像の明るさを調整できます。

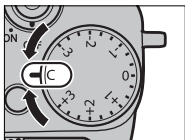
露出補正ダイヤルを回して、露出を補正します。



モードによって補正段数が制限されることがあります。

C (カスタム) について

露出補正ダイヤルを **C** の位置にしてフロントコマンドダイヤルを押すと、露出が設定できます。フロントコマンドダイヤルで補正值を調整します。



- フロントコマンドダイヤルによる露出補正では、**±5** の範囲で補正が可能になります。
- フロントコマンドダイヤルを押すと、絞り値と露出補正を切り替えることができます。

AE/AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが固定されます。

1 AE/AFロックしたい被写体にAFフレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体に露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



3 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。



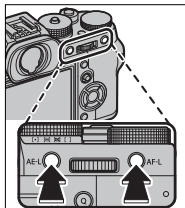
4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。





シャッターボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE を ON** にしておく必要があります。

ボタンによる AE/AF ロック

AE-L ボタンを使用すると、AE ロックのみを行えます。また、**AF-L** ボタンを使用すると、AF ロックのみを行えます（工場出荷時の設定）。

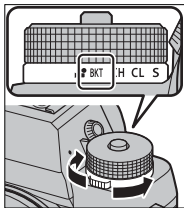


- **AE-L** ボタンまたは **AF-L** ボタンで AE/AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > AE/AF-LOCK 設定** を押下切替にすると、**AE-L** または **AF-L** ボタンを放しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn/AE-L/AF-L ボタン設定** で、各機能に割り当てるボタンを変更できます。

BKT ブラケットング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケットング撮影ができます。

- 1 ドライブダイヤルをBKT（ブラケットング）に合わせます。





- 2 使用したいブラケットングの種類と設定値を 撮影設定 > ドライブ設定で選びます。

ブラケットングの種類	
AE ブラケットング	
ISO ブラケットング	
フィルムシミュレーション BKT	
ホワイトバランス BKT	
ダイナミックレンジ BKT	

この設定はショートカット機能でも設定できます（ 248）。

- 3 撮影します。

AE ブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら、連続または1コマずつで撮影します。 **撮影設定 > ドライブ設定 > BKT 設定の AE ブラケティング**で撮影コマ数やステップの幅を設定できます（ 149）。



アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した**ステップ数**で撮影されません。

ISO ブラケティング

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度は**±1**、**± $\frac{2}{3}$** 、**± $\frac{1}{3}$** から選べます。

フィルムシミュレーション BKT

撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。

ホワイトバランス BKT

一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから**±1**、**±2**、**±3**ステップの幅を設定できます。

ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。



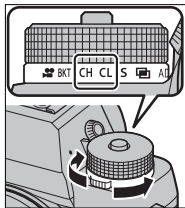
ISO感度を固定値に設定しているときは自動的にISO 800以上になり、ISO感度を**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3**に設定しているときはISO 200～800になることがあります。ダイナミックレンジブラケットを解除すると、ISO感度は元の設定に戻ります。



連続撮影（連写）


シャッターボタンを押し続けている間、各連写設定に応じたコマ数で連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1 ドライブダイヤルを**CH**（高速連写）または**CL**（低速連写）に合わせます。



- 2  撮影設定 > ドライブ設定で連写速度を選びます。



この設定はショートカット機能でも設定できます（ 248）。

- 3 撮影します。

シャッターボタンを押し続けている間、各連写設定に応じた連写速度で連続撮影します。



シャッターボタンを放すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。



- 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しなかったりする場合があります。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。

ピントや露出について

- ピントを自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを **C** に設定してください。
- 露出を自動で変えながら撮影したいときは、 **操作ボタン・ダイヤル設定** > **半押し AE** を **OFF** にしてください。
- ピントと露出を自動で変えながら撮影したいときは、 **操作ボタン・ダイヤル設定** > **半押し AE** を **OFF** にし、フォーカスモードを **C** に設定してください。




- **CH**（高速連写）でフォーカスモードが **C** のときは、選択できるフォーカスエリアが異なります。
- 絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、ピントや露出の自動調整が有効にならない場合があります。

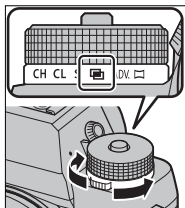


多重露出撮影

2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。



- 1 ドライブダイヤルを  (多重露出) に合わせます。



- 2 1枚目の画像を撮影します。

- 3 MENU/OKボタンを押します。
2枚目の撮影画面になります。



- 1枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

4 2枚目の画像を撮影します。

1枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。



5 MENU/OKボタンを押します。

2枚の画像を合成した画像が保存されます。

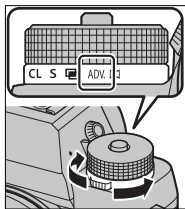



2枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

ADV. アドバンストフィルター撮影


さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。

- 1 ドライブダイヤルを**ADV.**（アドバンストフィルター）に合わせます。
















- 2  **撮影設定 > ドライブ設定**で使用したいアドバンストフィルターを選びます。



この設定はショートカット機能でも設定できます（ 248）。

- 3 撮影します。

アドバンストフィルターの種類

 トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
 ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
 ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
 ハイキー	全体的に階調を明るくし、コントラストを抑えます。
 ローキー	全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部分を強調します。
 ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え、やわらかな雰囲気を与えます。
 パートカラー (レッド)	特定の色域 (カッコ内の色) だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー (オレンジ)	
 パートカラー (イエロー)	
 パートカラー (グリーン)	
 パートカラー (ブルー)	
 パートカラー (パープル)	

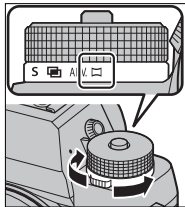


被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色味にならなかったりする場合があります。

パノラマ撮影

カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な1枚のパノラマ写真を作成します。

- 1 ドライブダイヤルを□（パノラマ）に合わせます。



- 2 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

◀ で撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさ（**M**/**L**）を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 撮影方向を選びます。

▶ で撮影方向を選択できます。撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 4 シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

5 矢印方向にカメラを動かします。

ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。



うまく撮影するには

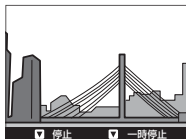
- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。
- ズーム位置を広角側に設定して、レンズの焦点距離を 35mm (35mm フィルム判で 50mm 相当) 以下で撮影することをおすすめします。



- 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。
- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 以下の場合はパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様に変化する風景
 - 明るさが大きく変動するシーン
- 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます（**操作ボタン・ダイヤル設定** > 半押し AE が ON のとき）。

パノラマ画像の再生

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



- パノラマ写真を1コマ再生しているときは、リアコマンドダイヤルを回して拡大/縮小表示できます。
- パノラマ再生時の操作は、セレクターボタンで行います。

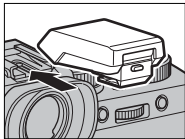
	1コマ再生中	再生中	一時停止中
▲ (上)	—	停止	
▼ (下)	再生	一時停止	再生
◀▶ (左右)	—		コマ送り

フラッシュ撮影

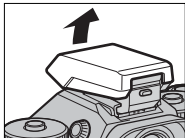
夜や暗い室内で撮影をするときは、同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 をお使いください。

- 1** ホットシューカバーを外して、ホットシューにフラッシュを取り付けます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、フラッシュをスライドさせます。

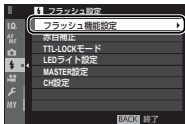


- 2** フラッシュを手動で起こし、ポップアップします。



- 3** 撮影メニューの **!** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

同梱フラッシュの設定画面が表示されます。



! フラッシュをポップアップしていない場合は、シンクロナリミナルの設定画面が表示されます（[265](#)）。必ずフラッシュをポップアップしてから設定してください。

📄 この設定はショートカット機能でも設定できます（[248](#)）。


4 フラッシュの設定を変更します (110)。


▲▼◀▶ で変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



5 DISP/BACKボタンを押します。

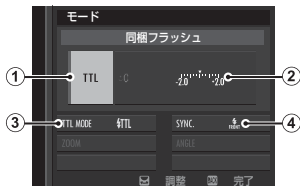
フラッシュモードが設定されます。

-  ご使用の交換レンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。
- 電子シャッターを使用しているときやパノラマ撮影などを行っているときは、フラッシュは発光しません。
- 撮影モードが **S** (シャッタースピード優先) または **M** (マニュアル) のときは、シャッタースピードを同調速度 **250X** よりも長い時間に設定してください。



















 TTL モードでは、フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

フラッシュ機能設定

同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 では、以下の項目を設定できます。



設定	説明										
① モード (発光モード)	フラッシュの発光モードを選びます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TTL</td> <td>TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。</td> </tr> <tr> <td>⚡ (コマンダー)</td> <td>スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときを選択します。</td> </tr> <tr> <td>OFF (OFF)</td> <td>フラッシュを使用しません。 OFF に設定しても、シンクローターミナルに接続したフラッシュは撮影に同期して発光させることができます。シンクローターミナルに接続したフラッシュも OFF にしたい場合は、EF-X8 をポップダウンしてから、フラッシュ機能設定メニューを開いてください。シンクローターミナルの動作設定が可能になります。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。	M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。	⚡ (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときを選択します。	OFF (OFF)	フラッシュを使用しません。 OFF に設定しても、シンクローターミナルに接続したフラッシュは撮影に同期して発光させることができます。シンクローターミナルに接続したフラッシュも OFF にしたい場合は、EF-X8 をポップダウンしてから、フラッシュ機能設定メニューを開いてください。シンクローターミナルの動作設定が可能になります。
	設定	説明									
	TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。									
	M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。									
⚡ (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときを選択します。										
OFF (OFF)	フラッシュを使用しません。 OFF に設定しても、シンクローターミナルに接続したフラッシュは撮影に同期して発光させることができます。シンクローターミナルに接続したフラッシュも OFF にしたい場合は、EF-X8 をポップダウンしてから、フラッシュ機能設定メニューを開いてください。シンクローターミナルの動作設定が可能になります。										

設定	説明								
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	フラッシュの調光補正または発光量を設定します。設定値は選択している発光モードによって異なります。								
③ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  TTL (フラッシュ発光 AUTO) </td> <td>被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>  標準 (スタンダード) </td> <td>一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td> </tr> <tr> <td>  TTL (スローシンクロ) </td> <td>夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッター速度が低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 TTL (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。	 標準 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。	 TTL (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッター速度が低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
	設定	説明							
	 TTL (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。							
 標準 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								
 TTL (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッター速度が低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								
④ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  FRONT (先幕) </td> <td>シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</td> </tr> <tr> <td>  REAR (後幕) </td> <td>シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 FRONT (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。	 REAR (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。		
	設定	説明							
 FRONT (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。								
 REAR (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。								

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、**Ⓛ フラッシュ設定 > 赤目補正**を **OFF** 以外に設定します。**📷 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出**を **ON** に設定する必要があります。

フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $1/250$ 秒以下です。

別売フラッシュについて

このカメラでは、別売の富士フィルム製クリップオンフラッシュが使用できます。

他社製のフラッシュをお使いになるときの注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

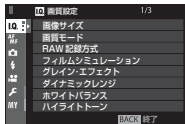
撮影メニュー

6

撮影メニュー（画質設定）

撮影時の画質に関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
I.Q.（画質設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値		
L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)
M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)
S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)



画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えても保持されます。

画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ3:2になります。
16:9	画像の縦横比が16:9になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
FINE	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **FINE** または **NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます (256)。再度ファンクションボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定 (左列) に戻ります。

設定されている 画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

RAW 記録方式




RAW 画像の記録方式を設定できます。

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します。「RAW FILE CONVERTER EX 2.0」などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落させずに現像できます（ 目録 295 ）。 非圧縮 に比べてファイルサイズが小さくなります。

フィルムシミュレーション


撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 クラシッククローム	発色を抑えて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。
 PRO Neg. Hi	 PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適しています。

設定	説明
 ACROS *	質感が豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 モノクロ *	モノトーン表現を活かしたモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。

* 選んだフィルターの補色の色が濃くなります。**Ye** フィルターは青から紫系が濃くなり、**R** フィルターは青から緑系が深くなります。**G** フィルターは赤系、肌色系が深くなるので人物撮影などに適しています。



- フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 248）。
- フィルムシミュレーションについては、以下のサイトも併せてご覧ください。

<http://fujifilm-x.com/ja/x-stories/the-world-of-film-simulation-episode-1/>





グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を加えます。

設定	説明
強	効果を強くします。
弱	効果を弱くします。
OFF	使用しません。

ダイナミックレンジ



撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定		おすすめ用途
AUTO (自動調整)	 100%	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。 
	 200%	
 400%		コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。











ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。




- ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。
-  **200%** は ISO 感度が ISO400 以上、 **400%** は ISO800 以上のときに設定できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
$\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
	色温度を設定します。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。



- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (p.248)。

WB シフト


ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。**▲▼◀▶** でホワイトバランスのシフト量を調整します。



ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。


カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス (W₁/W₂/W₃) を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

 MENU/OK ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。



3 シャッターボタンを全押しして設定します。

 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに DISP/BACK ボタンを押します。


4 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
- 「OVER」と表示されたときは－（マイナス）側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは＋（プラス）側に露出補正してから、再度測定してください。



K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。


- 1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



- 2 ▲▼で色温度を選び、MENU/OKボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。

 シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** ボタンを押してください。

- 3 ▲▼◀▶でホワイトバランスのシフト量を調整します。

- 4 MENU/OKボタンを押します。

色温度が設定されます。

色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

ノイズリダクション

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、ノイズリダクションの強弱を調整できます。高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値	
ON	OFF

点像復元処理

ON にすると、レンズごとの焦点距離、絞り値、画面中心から周辺までのデータを高精度に処理することで、絞り込み時の回折ボケやレンズ周辺部のわずかなボケを補正します。画像のすみずみまで高いシャープネスやリアルな立体感が得られます。

設定値	
ON	OFF

色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

ピクセルマッピング

撮影画像の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で**MENU/OK**ボタンを押して、**画質設定**タブを選びます。

2 **ピクセルマッピング**を選びます。

3 **MENU/OK**ボタンを押して、**ピクセルマッピング**を実行します。

- ❗ 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- 処理には数秒程度かかることがあります。

カスタム選択

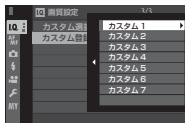
カスタム登録 / 編集で保存した設定を呼び出せます。

設定	説明
カスタム 1	カスタム登録 / 編集で保存したカスタム 1 ~ 7 設定を呼び出します。
カスタム 2	
カスタム 3	
カスタム 4	
カスタム 5	
カスタム 6	
カスタム 7	

カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます。保存した設定は、**画質設定 > カスタム選択**で呼び出せます。

- 1 撮影メニューから **画質設定 > カスタム登録/編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 設定を保存したい場所をカスタム 1~7 から選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

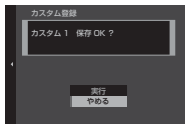


3 カスタムに保存できる項目は、個別に設定を変更できます。保存できる項目は次のとおりです。

- ダイナミックレンジ
- ハイライトトーン
- フィルムシミュレーション
- シャドウトーン
- グレイン・エフェクト
- シャープネス
- ホワイトバランス
- ノイズリダクション
- カラー



4 DISP/BACKボタンを押すと、確認画面が表示されます。実行を選んでMENU/OKボタンを押すと、設定が保存されます。

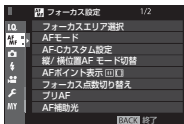



- 現在の設定を反映を選択して **MENU/OK** ボタンを押すと、現在の設定が**カスタム 1～7**に上書きされます。
- **リセット**を選択すると、登録されている設定がリセットされます。
- **カスタム名編集**を選択すると、**カスタム 1～7**の名前を変更できます。

撮影メニュー（フォーカス設定）

撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF/MF**（フォーカス設定）タブを選びます。










 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピント合わせのエリアを変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

AF モード

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します。

設定	用途例
 シングル ポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。 AF フォーカス設定 > フォーカス点数切り替え でフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。被写体をピンポイントで撮影するときに便利です。
 ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。動く被写体を撮影するときに便利です。
 ワイド/ トラッキング	<ul style="list-style-type: none">フォーカスモードが S のとき (ワイド): シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。フォーカスモードが C のとき (トラッキング): フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。 <p>小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。</p>
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (80、81)、  シングルポイント、  ゾーン、  ワイド/トラッキングの順でフォーカスエリアを選択できます。

AF-C カスタム設定

フォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。シーンに応じた **SET 1 ~ 5** を選びます。**SET 6 カスタム** で設定値を任意で設定することもできます。



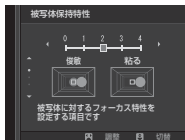
設定	説明
SET 1 汎用性の高い 基本的な設定	動きのある被写体全般に適応する標準的な設定です。
SET 2 障害物があるときや、 フレームアウト しやすいとき	ロックしている被写体にピントを合わせ続けようとします。被写体がフォーカスエリアから外れてしまったり、被写体以外がフォーカスエリアに入ってしまうシーンに適しています。
SET 3 急加速 / 急減速する 被写体向け	急激な加速や減速に反応してピントを合わせようとします。被写体の速度変化が大きいシーンに適しています。
SET 4 急に現れる 被写体向け	フォーカスエリア内に入ってきたものに対して即座にピントを合わせようとします。急に現れる被写体や被写体を切り替えながら撮影する場合に適しています。
SET 5 前後左右に激しく 動く被写体向け	被写体の速度変化が大きく、さらに上下左右にも動いてフォーカスエリアから外れやすいシーンに適しています。
SET 6 カスタム	被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性をお好みで設定できます。 SET 1 ~ 5 で設定されている設定値を参考にして各特性を設定してください（ P.136 、 P.138 ）。

各設定の特性について

それぞれの設定は、**被写体保持特性**、**速度変化特性**、**ゾーンエリア特性**の設定値で構成されています。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。設定値が大きいほどピントを合わせようとしている被写体を長く捉えようとします。



設定値				
0	1	2	3	4



- 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

速度変化特性

被写体が速度変化した場合の被写体位置の予測度合いを決める特性です。数値が大きいほど急速な動きに反応し、ピント精度を上げようとします。

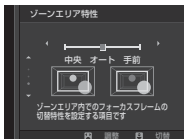


設定値		
0	1	2

! 数値が大きいほど、光の反射やコントラストがない被写体などの AF が苦手な被写体ではピントが不安定になる場合があります。

ゾーンエリア特性

ゾーン AF エリア内のどのエリアを優先してピントを決めるかを定める特性です。



設定	説明
中央	常に中央のエリアを優先してピントを選びます。
オート	初回 AF ではゾーン中央付近の被写体にピントを合わせ（ロック）、その後はロックした被写体が含まれるエリアを自動で選びます。
手前	常に手前のエリアを優先してピントを選びます。

! ゾーンエリア特性は AF モードに **☐** ゾーンを選んでいているときのみ有効です。

SET 1 ~ 5 の特性について

SET 1 ~ 5 の特性の各設定値は以下のように設定されています。

AF-C カスタム設定	被写体保持特性	速度変化特性	ゾーンエリア特性
SET 1	2	0	オート
SET 2	3	0	中央
SET 3	2	2	オート
SET 4	0	1	手前
SET 5	3	2	オート

SET 6 カスタムの設定手順


- 1 AF-Cカスタム設定のSET 6 カスタムを選びます。



- 2 被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性の設定値を設定します。

▲▼ で設定する項目を選び、フロントコマンドダイヤルで設定値を変更します。

- 3 DISP/BACKボタンで設定を決定します。


設定画面で  ボタンを押すと、設定をリセットします。

縦 / 横位置 AF モード切替

カメラを横向きで撮影するときと、縦向きで撮影するときのフォーカスエリアポイントの位置を別々に設定できます。

設定	説明
OFF	横向きと縦向きを同じ位置に設定します。
フォーカスエリアのみ	フォーカスエリアの位置のみ別々に設定します。
ON	縦向きと横向きをそれぞれ別々に設定します。

AF ポイント表示

 フォーカス設定 > AF モードがゾーンまたはワイド/トラッキングのときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

フォーカス点数切り替え

AF モードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
91 点 (7×13)	91 点 (7×13) のフォーカスエリアポイントから選べます。
325 点 (13×25)	325 点 (13×25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

プリ AF

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときに有効です。

設定値	
ON	OFF

 **ON** にすると、バッテリーの消費が早くなります。

AF 補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

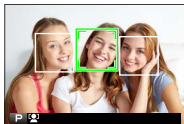
設定値	
ON	OFF



- シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- 被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- 人の目に近づけて発光させないでください。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を **ON** にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、**瞳 AF**を **ON** にすると、目にピントを合わせることができます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



設定	説明
顔検出 ON/ 瞳 AF OFF	顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。
顔検出 ON/ 瞳 AF AUTO	顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 右目優先	顔を検出したときに右目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 左目優先	顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
顔検出 OFF/ 瞳 AF OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。



- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。



- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (📖 248)。

AF+MF

ON にすると、フォーカスモードが **S** 時に AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）のときにフォーカスリングを回すと、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値	
ON	OFF



- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスモードを **S**、レンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。



MF アシストでスタンダードまたはフォーカスピーキングを選んでいる場合は、選んだ MF アシストでピントの確認ができます。

AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

フォーカス設定 > **フォーカスチェック** を **ON** にすると、**AF** モードが **シングルポイント** のときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回すと 2.5 倍または 6 倍に切り替えることができます。

MFアシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します。

設定	説明
スタンダード	通常表示です（デジタルスプリットイメージ/フォーカスピーキング機能を使用しません）。
デジタルスプリットイメージ	画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整できます。スプリットイメージは モノクロ または カラー のいずれかを選べます。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。

フォーカスチェック


ON にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF



- リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。
- 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、測光が  スポットで **AF** モードがシングルポイントのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF

ワンプッシュ AF 時の動作

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）の **AF-L** ボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときのそれぞれを個別に設定できます。

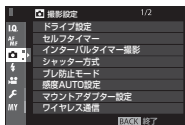
設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないなくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。



撮影メニュー（撮影設定）

撮影時の設定を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
📷（撮影設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。


ドライブ設定




ドライブモードの設定を変更できます。

設定	説明					
BKT 設定 (📖 149)	ドライブモードが BKT のときのブラケットングの種類やそれぞれの設定を変更できます。					
CH 高速連写	ドライブモードが CH （高速連写）のときの連写速度を設定します。					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14 fps</td> <td>11 fps</td> <td>8.0 fps</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 14 fps は電子シャッター使用時のみ、11 fps は電子シャッター使用時またはパワーブースターグリップ装着時のみ選べます。 	設定値			14 fps	11 fps
設定値						
14 fps	11 fps	8.0 fps				
CL 低速連写	ドライブモードが CL （低速連写）のときの連写速度を設定します。					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.0 fps</td> <td>4.0 fps</td> <td>3.0 fps</td> </tr> </tbody> </table>	設定値			5.0 fps	4.0 fps
設定値						
5.0 fps	4.0 fps	3.0 fps				
ADV. フィルター設定	ドライブモードが ADV. のときのフィルター効果を設定します (📖 103)。					

BKT 設定

ドライブモードが **BKT** のときのブラケットの種類やそれぞれの設定を変更できます。

設定	説明	
BKT 選択	ドライブモードが BKT のときのブラケットの種類を選びます。	
	ブラケットの種類	
	 AE ブラケットिंग	
	 ISO ブラケットिंग	
	 フィルムシミュレーション BKT	
	 ホワイトバランス BKT	
 ダイナミックレンジ BKT		
AE ブラケットिंग	BKT 選択 が  AE ブラケットिंग のときの撮影コマ数などを設定できます。	
	サブメニュー	内容
	コマ数 / ステップ数 設定	<p>AE ブラケットिंगで撮影するコマ数と明るさの変化量（ステップ数）を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コマ数: 撮影するコマ数を選びます。 • ステップ数: 明るさの変化量を選びます。
	1 コマ / 連続	<ul style="list-style-type: none"> • 1 コマ: シャッターボタンを押すたびに 1 枚ずつ撮影します。 • 連続: シャッターボタンを 1 度押すと、コマ数 / ステップ数設定の設定にしたがって連続撮影します。
撮影順序設定	AE ブラケットिंगの撮影順序を設定できます。	

設定	説明		
ISO ブラケットイング	BKT 選択が  ISO ブラケットイングのときの変化量を設定します。		
	設定値		
	$\pm 1/3$	$\pm 2/3$	± 1
フィルム シミュレーション BKT	BKT 選択が  フィルムシミュレーション BKT のときに撮影する 3 枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ設定します (📖 118)。		
ホワイトバランス BKT	BKT 選択が  ホワイトバランス BKT のときの変化量を設定します。		
	設定値		
	± 1	± 2	± 3

セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。




設定	説明
🕒 2 秒	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
🕒 10 秒	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。

- ❗
- シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
 - セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の撮影間隔と撮影回数を設定できます。

- 1 撮影メニューから  撮影設定 > インターバルタイマー撮影を選び、MENU/OKボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。





- 2 ▲▼◀▶で撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OKボタンを押します。
開始時間設定画面が表示されます。



- 3 ▲▼◀▶で開始時間を設定し、MENU/OKボタンを押します。
インターバルタイマー撮影が開始されます。



バルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。


-  三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。別売のACパワーアダプター AC-9V、DC カプラー CP-W126 を併せてご使用ください。
 - インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
 - 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
 - 撮影回数を ∞ に設定すると、メモリーカードに空きがなくなるまで撮影します。


シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影できます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
MS メカニカル+ ES 電子	カメラが状況に応じたシャッターで撮影します。


ES 電子シャッターまたは MS メカニカル+ ES 電子に設定すると、シャッタースピードダイヤルを **8000** にしたあとにリアコマンドダイヤルで、より高速のシャッタースピードを選べます。


-  電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
 - 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
 - シャッター音を消して撮影できますが、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮の上、お客様の責任でお使いください。

-  電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。
- ISO 感度は 12800 ~ 200、シャッタースピードは $1/32000$ ~ 30 秒に制限されます。
 - 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
 - フラッシュは発光しません。

ブレ防止モード

手ブレを軽減します。

設定	説明
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードが C のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は OFF にすることをおすすめします。 OFF のときは、  が表示されます。

 手ブレ補正対応レンズ装着時のみ有効です。

感度 AUTO 設定

感度ダイヤルを **A** (オート) に合わせたときの**基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界**を設定できます。**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3** にそれぞれ異なった値を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	12800 ~ 200	200		
上限 ISO 感度	12800 ~ 400	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/500 ~ 1/4 秒、 AUTO	1/60 秒		

基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。



- **上限 ISO 感度**よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- **低速シャッター限界**を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します (手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません)。この時のシャッタースピードの目安は、「1/ 焦点距離」秒になります。

マウントアダプター設定

別売のMマウントアダプター「FUJIFILM M MOUNT ADAPTER」を使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着したときに、レンズに合わせて焦点距離をカメラに設定できます。

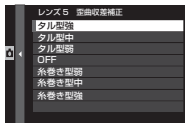
焦点距離設定

- ご使用のレンズの焦点距離が**21mm、24mm、28mm、35mm**のいずれかの場合は、マウントアダプター設定の**レンズ1～4**からご使用のレンズの焦点距離を選んでください。
- **21mm、24mm、28mm、35mm**以外のレンズをご使用になる場合は**レンズ5**または**レンズ6**を選び、▶を押して焦点距離設定メニューを表示させ、ご使用になるレンズの実焦点距離を▲▼◀▶で設定してください。



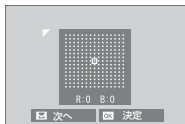
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。**タル型**と**糸巻き型**の補正を、それぞれ**強**、**中**、**弱**の3段階で補正できます。




色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。



補正方法

- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 ▲▼◀▶で補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
 - **レッド/シアン（横軸方向）**：-9 ~ +9 の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - **ブルー/イエロー（縦軸方向）**：-9 ~ +9 の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。

 色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。補正量は、**-5**～**+5**と**0**（ゼロ）の計11段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールドレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。



周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Remote**」をインストールしておく必要があります。




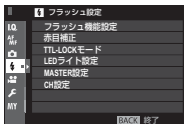
無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。


<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

撮影メニュー（フラッシュ設定）

撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（フラッシュ設定）タブを選びます。





 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。



 各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ/シンクロナル」をご覧ください（ 262）。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光 + 補正処理	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光とデジタル補正による赤目補正を行います。
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
補正処理	デジタル補正による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。



- 赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。
- 顔が検出できないときは、デジタル補正は使用できません。
- RAW ファイルの画像は、デジタル補正は使用できません。

TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。



- TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます（ 256）。
- ロックしていても調光補正はできます。
- **直前の発光条件でロック**を設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。

LED ライト設定

フラッシュのLEDビデオライトを静止画撮影時のAF補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LEDライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF補助光	AF補助光としてのみ使用します。
AF補助光+ キャッチライト	AF補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

MASTER 設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

CH 設定

マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

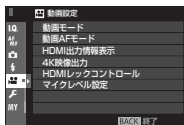
設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4



撮影メニュー（動画設定）

動画撮影に関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（動画設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

動画モード

撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定		説明
UHD 4K 2160/29.97 P UHD 4K 2160/25 P	UHD 4K 2160/24 P UHD 4K 2160/23.98 P	フレームレートが 29.97 fps、25 fps、24 fps、23.98 fps の 3840 × 2160 の 4K 動画
FULL HD 1080/59.94 P FULL HD 1080/50 P FULL HD 1080/29.97 P	FULL HD 1080/25 P FULL HD 1080/24 P FULL HD 1080/23.98 P	フレームレートが 59.94 fps、50 fps、29.97 fps、25 fps、24 fps、23.98 fps の 1920 × 1080 の動画
HD 720/59.94 P HD 720/50 P HD 720/29.97 P	HD 720/25 P HD 720/24 P HD 720/23.98 P	フレームレートが 59.94 fps、50 fps、29.97 fps、25 fps、24 fps、23.98 fps の 1280 × 720 の動画

動画 AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	カメラが自動的にピントを合わせます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。


HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	OFF

4K 映像出力先

カメラを HDMI ケーブルで 4K 対応の外部レコーダーなどに接続する場合、4K 映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
 カード	4K 映像はメモリーカードに記録され、外部レコーダーにはフル HD 映像が出力されます。
HDMI	映像はメモリーカードに記録されず、外部レコーダーに 4K 映像が出力されます。
HDMI (FLog)	映像はメモリーカードに記録されず、撮影後の映像処理（ポストプロダクション）を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の 4K 映像が外部レコーダーに出力されます。最低 ISO 感度は 800 になります。

HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。

設定値	
ON	OFF

マイクレベル設定

内蔵マイクまたは外部マイクの音量を調節できます。



設定	説明
20 ~ 1	マイクレベルを調節してください。
OFF	マイクレベルをオフにします。



- マイクレベルは、ピーク値を一定時間保持して表示します。
- 録音中でもマイクレベルを変更できます。ファンクションボタンに**マイクレベル設定**を割り当てておくと、動画記録中に割り当てたファンクションボタンを押してマイクレベルを調節できます。

MEMO

画像の再生と 再生メニュー

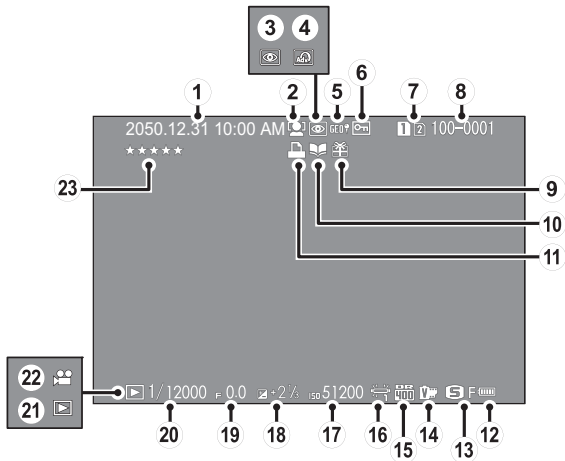
7

再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。



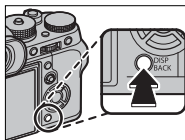
説明のため情報はすべて表示しています。



- ① 日付・時刻.....44、204
- ② 顔検出.....141
- ③ 赤目補正.....162、189
- ④ アドバンストフィルター.....102
- ⑤ 位置情報.....244、292
- ⑥ プロテクト.....187
- ⑦ カードスロット.....178
- ⑧ コマ NO.....238
- ⑨ プレゼント.....51
- ⑩ フォトブックアシスト.....194
- ⑪ プリント予約.....197
- ⑫ バッテリー残量表示.....43
- ⑬ 画像サイズ.....115
画質モード.....116
- ⑭ フィルムシミュレーション...118
- ⑮ ダイナミックレンジ.....121
- ⑯ ホワイトバランス.....122
- ⑰ ISO 感度.....88
- ⑱ 露出補正.....92
- ⑲ 絞り値.....63、69、72
- ⑳ シャッタースピード.....63、64、72
- ㉑ 再生モード.....51
- ㉒ 動画アイコン.....58
- ㉓ お気に入り.....174

情報表示の切り替え

再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



情報表示なし



お気に入り



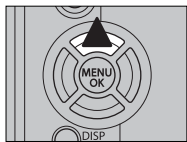
INFO 画面

お気に入りを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、**お気に入り**のランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で★の数 (0～5) を設定します。

撮影時の情報確認

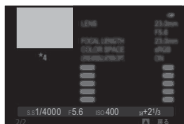
1コマ再生時に ▲ を押すと撮影時の情報を確認できます。



1コマ再生



INFO 画面 2

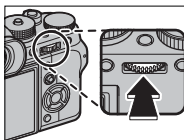


INFO 画面 1



ピントの位置を拡大表示する

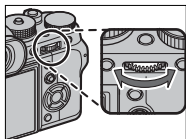
リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと、1コマ再生に戻ります。



再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。



1コマ再生画面



マルチ再生



DISP/BACK
MENU/OK



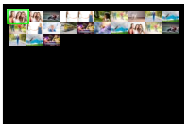
再生ズーム



9コマ再生



マイクロサムネイル再生



拡大再生 1



拡大再生 2



再生ズーム

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。



- 最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定 > 画像サイズ** によって変わります。
- **再生メニュー > リサイズ** または **トリミング** の **640** で保存された画像を再生ズームすることはできません。

ナビゲーションについて

拡大表示中に **▲▼◀▶** で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。



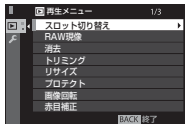
- **▲▼◀▶** で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- **▲** または **▼** でページを切り替えることもできます。



再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。




メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでページの切り替えができます。

スロット切り替え

画像を再生するメモリーカードを選びます。



 ボタンを長押ししても、再生するメモリーカードを切り替えることができます。

7

画像の再生と再生メニュー

RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

現像手順

- 1 再生画面で現像するRAW画像を選びます。
- 2 回再生メニュー > RAW現像を選びます。

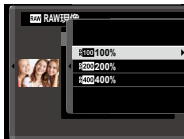
- 3 MENU/OKボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



- 4 ▲▼で変更する項目を選びます。

- 5 ▶で設定の変更に移ります。



- 6 ▲▼で設定を変更します。

7 MENU/OKボタンを押して、決定します。

手順3の画面に戻ります。手順7までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Qボタンを押します。

保存するJPEGファイルのプレビューが表示されます。

9 MENU/OKボタンを押します。

JPEG画像が保存されます。




RAW画像の再生時にQボタンを押しても、**RAW現像**を表示できません。

RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たま まに近い写真を撮影できます。
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を加え ます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定し ます。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにし たり、強調したりできます。
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを 低減できます。
点像復元処理	回折現象やレンズ周辺部のわずかなボケ を補正し、解像感を向上させます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。

消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。


 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1コマ消去

1 消去メニューから1コマを選びます。

2 消去する画像を◀または▶で選んでから**MENU/OK**ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

-  **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を◀または▶で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。

- 2 消去する画像を▲▼◀▶で選んでMENU/OKボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 まとめて消去する画像を選択指定した後、DISP/BACKボタンを押します。

消去実行画面が表示されます。

- 4 実行を選んで、MENU/OKボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、**!**が表示されます。

全コマ消去

1 消去メニューから全コマを選びます。

2 実行を選んで、**MENU/OK**ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。




- **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとする時、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング(切り抜く)できます。
トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。

2  再生メニュー > トリミングを選びます。

3 リアコマンドダイヤルとセレクターボタンでトリミングしたい部分を調整します。

4 MENU/OKボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。


5 MENU/OKボタンを押して、トリミングします。




- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズ (**M**、**S**、**640**) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニュー > プロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none"> 手順3のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OKボタンを押して、プロテクトを設定/解除します。

4 DISP/BACKボタンを押して、プロテクトを終了します。


! メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。

- 1 再生画面で回転したい画像を選びます。
- 2 回再生メニュー > 画像回転を選びます。
- 3 セレクターボタンの▼（時計回りに90° 回転）または▲（反時計回りに90° 回転）で画像を回転します。
- 4 MENU/OKボタンを押して、回転を決定します。




- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
-  表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

赤目補正


人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2  再生メニュー > 赤目補正を選びます。


3 MENU/OKボタンを押して、赤目補正を開始します。



- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じたりすることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 赤目補正済みの ( が表示されている) 画像は、それ以上赤目補正できません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

ボイスメモ設定


静止画に最長 30 秒間の音声を記録できます。


- 1  再生メニュー > ボイスメモ設定をONにします。
- 2 再生画面でボイスメモを記録したい画像を選びます。
- 3 フロントコマンドダイヤルの中央を押している間、ボイスメモが記録されます。
30 秒経過すると、記録は終了します。



- すでにボイスメモが記録されている画像に再度記録すると、上書き記録されます。
- プロテクトされている画像にボイスメモは記録できません。
- 画像を消去すると、記録されているボイスメモも消去されます。

ボイスメモの再生について

再生時にボイスメモが記録されている画像を選択すると、 が表示されます。

- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、ボイスメモを再生できます。
- ボイスメモ再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。再生音量は、 **音設定** > **再生音量** でも設定できます。

画像コピー

カメラのメモリーカードスロット1（以下、スロット1）に装着したメモリーカードとメモリーカードスロット2（以下、スロット2）に装着したメモリーカードとの間で、画像をコピーできます。

1 再生メニュー＞画像コピーを選びます。

2 コピーの方法を選びます。

設定	説明
スロット1⇨ スロット2	スロット1のメモリーカードの画像をスロット2のメモリーカードにコピーします。
スロット2⇨ スロット1	スロット2のメモリーカードの画像をスロット1のメモリーカードにコピーします。

3 ▶を押します。

4 コピーするコマ数を選びます。

設定	説明
1コマ	表示中の画像をコピーします。 <ul style="list-style-type: none"> 手順5のあとに ◀または ▶で、続けてコピーする画像を選べます。
全コマ	すべての画像をコピーします。

5 MENU/OKボタンを押して、コピーを開始します。

! コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Remote**」をインストールしておく必要があります。



無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。

操作方法

設定	説明
MENU/OK ボタン	スライドショーを開始 / 終了します。
DISP/BACK ボタン	スライドショー終了のガイダンスを表示します。
◀ または ▶	コマ送りします。



スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニュー> フォトブックアシストを選びます。

2 新規BOOKを選び、MENU/OKボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

▲ で表示されている画像を選択または選択解除し、▼ で表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OKボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OKボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は300枚までです。
- 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。◀または▶で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに**MENU/OK**ボタンを押します。
- 2 **編集**または**削除**を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集/削除します。

PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ PC アプリケーション「**FUJIFILM PC AutoSave**」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。



無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。


<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておく、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

1 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

2 日付の有無を設定します。

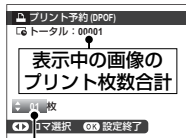
設定	説明
日付あり設定 	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 DPOF指定する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます
(最大99枚)。



DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。




プリント枚数

5 プリントしたいすべての画像に対して手順3と4を行います。

6 合計枚数を確認して、もう一度MENU/OKボタンを押します。



- DPOF 指定（プリント予約）した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめ **接続設定** > **instax プリンター接続設定** で、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力しておく必要があります。

1 プリンターの電源を入れます。

2 回再生メニュー > instaxプリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

3 プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

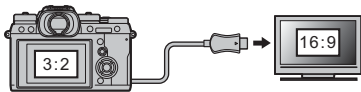


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定	16:9	3:2
イメージ		




16:9 に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。
3:2 に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

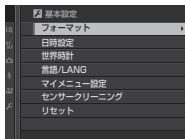
セットアップメニュー

8

セットアップメニュー (基本設定)


カメラの基本的な設定を変更できます。

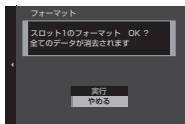
MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**基本設定**を選びます。



フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

- 1 セットアップメニューから  **基本設定** > **フォーマット** を選びます。
- 2 フォーマットしたいメモリーカードが入っているスロット（スロット1/スロット2）を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



- 4 ▲ で実行を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。




確認画面で **やめる** を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。




- プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。



 (消去) ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を押してもフォーマット画面を表示できます。

日時設定

日付と時刻を設定します。


- 1 セットアップメニューから  基本設定 > 日時設定を選びます。
- 2 ▲▼で年月日の並び順を選びます。
- 3 ◀▶で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼で設定する数字を選びます。
- 4 MENU/OKボタンを押すと、日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
🏠 ホーム	現在設定されている日時を表示します。
➦ 現地	旅行先の日時を表示します。

現地時間の設定方法

- ➦ 現地を選び、**MENU/OK**ボタンを押します。
-
- ◀▶で設定する項目（+/-、時、分）を選び、▲▼で設定する数字を選びます。
-
- MENU/OK**ボタンを押します。
-
-  ➦ 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に ➦ と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

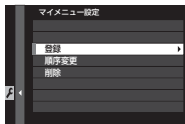
言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY**（マイメニュー）タブを選ぶと表示されます。

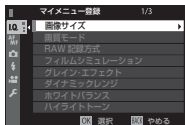
- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定** を選びます。
メニューが表示されます。



順序変更 を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

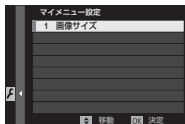
- 2 ▲▼で登録を選び、MENU/OKボタンを**
押します。

登録可能なメニューが青文字で表示
 されます。



登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

- 3 登録するメニューを選び、**
MENU/OKボタンを押します。
 マイメニューが登録されます。



- 4 MENU/OKボタンを押します。**
 マイメニュー登録画面に戻ります。

- 5 手順3と4を繰り返して、マイメニューを登録します。**



最大 16 項目（8×2 ページ）のメニューが登録できます。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。



センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、手動でセンサーをクリーニングしてください。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。


- 1 リセットするメニューを選び**MENU/OK**ボタンを押します。

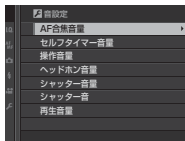
設定	説明
撮影メニューリセット	撮影メニューの カスタム登録 / 編集 の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの 日時設定、世界時計、接続設定 の接続に関する設定以外がリセットされます。

- 2 確認画面で**実行**を選んで**MENU/OK**ボタンを押します。

セットアップメニュー（音設定）





カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**音設定**を選びます。







AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





ヘッドホン音量

別売の縦位置パワーブースターグリップ VPB-XT2 を装着した際のヘッドホン使用時の音量を設定します。

設定	説明
10 ~ 1	音量を 1 ~ 10 に設定します。
0	音量をオフに設定します。

シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
J1	シャッター音 1 に設定します。
J2	シャッター音 2 に設定します。
J3	シャッター音 3 に設定します。


再生音量

動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
10 ~ 1	音量を 1 ~ 10 に設定します。
0	音量をオフに設定します。

セットアップメニュー (表示設定)

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**表示設定**を選びます。



EVF 明るさ

EVF (ファインダー) の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的に適切な明るさを調整します。
マニュアル	+5 ~ -7 の明るさを手動で調整します。

EVF 鮮やかさ

EVF (ファインダー) の鮮やかさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

LCD 明るさ

LCD (液晶モニター) の明るさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、 OFF になります。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	OFF

マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル（**M**）撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できます。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は OFF にしてください。


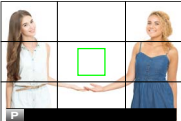

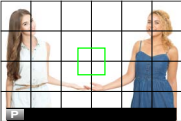


モニター撮影効果反映

撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。
OFF	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンスフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。	
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	



フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください (📖 221)。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値	
ON	OFF

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル (m) に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート (ft.) に設定します。


2 画面モード表示設定

情報表示切り替えの「2画面」の表示設定を変更できます。

設定	説明
R: フォーカス L: フレーム	R（右）側の子画面（小さい画面）にピントを合わせた位置を拡大表示し、L（左）側の親画面（大きい画面）に撮影画面全体を表示します。
R: フレーム L: フォーカス	R（右）側の子画面（小さい画面）に撮影画面全体を表示し、L（左）側の親画面（大きい画面）にピントを合わせた位置を拡大表示します。

画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます。

- 1 「スタンダード」画面になるまで**DISP/BACK**ボタンを押します。
- 2 セットアップメニューから  表示設定 > 画面のカスタマイズを選びます。

3 表示したい項目を選び、MENU/OKボタンを押します。

画面に表示する項目には、が表示されます。が表示されている状態で**MENU/OK**ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	工場出荷時	表示項目	工場出荷時
フレーミングガイド	<input type="checkbox"/>	フラッシュ	<input checked="" type="checkbox"/>
電子水準器	<input type="checkbox"/>	連写モード	<input checked="" type="checkbox"/>
AF フレーム	<input checked="" type="checkbox"/>	ブレ防止	<input checked="" type="checkbox"/>
AF 時の距離指標	<input type="checkbox"/>	ホワイトバランス	<input checked="" type="checkbox"/>
MF 時の距離指標	<input checked="" type="checkbox"/>	フィルムシミュレーション	<input checked="" type="checkbox"/>
ヒストグラム	<input type="checkbox"/>	ダイナミックレンジ	<input checked="" type="checkbox"/>
撮影モード	<input checked="" type="checkbox"/>	ブーストモード	<input checked="" type="checkbox"/>
絞り/シャッター速度/ISO	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影可能枚数	<input checked="" type="checkbox"/>
情報表示背景	<input checked="" type="checkbox"/>	画像サイズ & 画質モード	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正表示	<input type="checkbox"/>	動画モード & 録画時間	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正ゲージ	<input checked="" type="checkbox"/>	マイクレベル	<input checked="" type="checkbox"/>
フォーカスモード	<input checked="" type="checkbox"/>	バッテリー残量表示	<input checked="" type="checkbox"/>
測光	<input checked="" type="checkbox"/>	画面枠	<input type="checkbox"/>
シャッター方式	<input checked="" type="checkbox"/>		

4 表示したい項目を選び、DISP/BACKボタンを押します。

設定が保存されます。


5 DISP/BACKボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

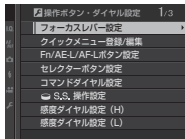


セットアップメニュー

(操作ボタン・ダイヤル設定)


カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF (ロック)	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
 ボタンで ON	フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。

クイックメニュー登録 / 編集

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 セットアップメニューから 操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録/編集を選びます。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OKボタンを押します。


割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|---|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 画像サイズ | <input type="radio"/> AF-C カスタム設定 |
| <input type="radio"/> 画質モード | <input type="radio"/> 顔検出 / 瞳 AF 設定 |
| <input checked="" type="radio"/> フィルムシミュレーション | <input type="radio"/> MF アシスト |
| <input checked="" type="radio"/> グレイン・エフェクト | <input type="radio"/> セルフタイマー |
| <input checked="" type="radio"/> ダイナミックレンジ | <input type="radio"/> シャッター方式 |
| <input checked="" type="radio"/> ホワイトバランス | <input type="radio"/> フラッシュ機能設定 |
| <input checked="" type="radio"/> ハイライトトーン | <input type="radio"/> フラッシュ調光補正 |
| <input checked="" type="radio"/> シャドウトーン | <input type="radio"/> 動画モード |
| <input type="radio"/> カラー | <input type="radio"/> マイクレベル設定 |
| <input checked="" type="radio"/> シャープネス | <input type="radio"/> EVF/LCD 明るさ |
| <input checked="" type="radio"/> ノイズリダクション | <input type="radio"/> EVF/LCD 鮮やかさ |
| <input checked="" type="radio"/> カスタム選択 | <input type="radio"/> なし |
| <input type="radio"/> AF モード | |




- 印はカスタム登録が可能なメニューです。
- なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- カスタム選択を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

- 3 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK**ボタンを押します。
クイックメニューにメニューが割り当てられます。

 クイックメニューの割り当ては、撮影画面で **Q** ボタンを長押ししても変更できます。

Fn/AE-L/AF-L ボタン設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

1 セットアップメニューから  操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn/AE-L/AF-Lボタン設定を選びます。

2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、MENU/OK ボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- ドライブ設定
- セルフタイマー
- シャッター方式
- 感度 AUTO 設定
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- マイクレベル設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- モニター撮影効果反映
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- 絞り設定
- ロック指定
- パフォーマンス
- 再生モード
- なし

3 割り当てる機能を選び、MENU/OKボタンを押します。



- なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- セレクターボタンだけで、2つ以上の機能を同時に動作させることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、**DISP/BACK** ボタンを長押ししても変更できます。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押してシャッターボタン半押し
の状態を保つことができます。

モデリング発光の割り当て

モデリング発光 を割り当てたボタンを押すと、撮影前に、
被写体の影の出かたなどを確認するためのモデリング発光
を行えます。


TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**⚡ フラッシュ設定**
> TTL-LOCK モードで設定されているモードでロックでき
ます（📖 163）。

セレクターボタン設定

セレクターボタンの設定を変更できます。

設定	説明
Fn ボタン	ファンクションボタンとして機能します。
フォーカスエリア	セレクターボタンでフォーカスエリアを選択できます。

 フォーカスエリアのときは、ファンクションボタンに割り当てられている機能は使用できなくなります。

コマンドダイヤル設定

絞り値とシャッタースピードを操作するコマンドダイヤルのフロントとリアを入れ換えることができます。

設定	説明
▲F 値 ▼S.S.	フロントコマンドダイヤルを絞り値、リアコマンドダイヤルをシャッタースピードに設定します。
▲S.S. ▼F 値	フロントコマンドダイヤルをシャッタースピード、リアコマンドダイヤルを絞り値に設定します。

S.S. 操作設定

OFF にすると、コマンドダイヤルによるシャッタースピードの微調整機能が無効になります。

設定値	
ON	OFF

感度ダイヤル設定（H）

感度ダイヤルの H に割り当てる拡張感度を変更できます。

設定	説明
25600	感度ダイヤルの H（拡張感度）の位置を ISO 25600 に設定します。
51200	感度ダイヤルの H（拡張感度）の位置を ISO 51200 に設定します。

感度ダイヤル設定 (L)

感度ダイヤルの **L** に割り当てる拡張感度を変更できます。

設定	説明
100	感度ダイヤルの L (拡張感度) の位置を ISO 100 に設定します。
125	感度ダイヤルの L (拡張感度) の位置を ISO 125 に設定します。
160	感度ダイヤルの L (拡張感度) の位置を ISO 160 に設定します。

感度ダイヤル設定 (A)

感度ダイヤルの **A** に割り当てる感度を変更できます。

設定	説明
AUTO	感度ダイヤルを A に合わせると、被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。☑ 撮影設定 > 感度 AUTO 設定 で AUTO1 、 AUTO2 、 AUTO3 の設定を選びます。
コマンド	感度ダイヤルを A に合わせると、フロントコマンドダイヤルで ISO 感度を設定できます。

半押し AF

ON にすると、シャッターボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

サブメニュー	説明
AF-S	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。
AF-C	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：シャッターボタンを半押ししている間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。

半押し AE

ON にすると、シャッターボタン半押し時に AE ロック（露出を固定）します。

サブメニュー	説明
AF-S/MF	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：シャッターボタンを半押しすると、AE ロック（露出を固定）します。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししても AE ロックしません。
AF-C	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：シャッターボタンを半押ししている間、AE ロック（露出を固定）し続けます。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししても AE ロックしません。



連写時に露出を追従させたいときは、**OFF** にしてください。

レンズなしリリース

ON にすると、レンズを未装着でシャッターがきれます。

設定値	
ON	OFF

カードなしリリース

メモリーカードが未挿入時の動作を設定できます。

設定	説明
ON	メモリーカードが未挿入のときもシャッターがきれ、動作を確認できます。撮影メニューやセットアップメニューも表示できます。
OFF	メモリーカードが未挿入のときはシャッターがきれません。メモリーカードの入れ忘れ防止などに便利です。

フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

AE/AF-LOCK 設定

AE-L または **AF-L** 機能を割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

絞り設定

絞りリングなしレンズを使用しているときの絞りの操作方法を選択できます。

設定	説明
オート+ マニュアル	フロントコマンドダイヤルを回して、絞りの操作ができます。また、小絞り値からさらにダイヤルを回すと、 A （オート）も選べます。
オート	絞り設定がオートになります。プログラム（ P ）またはシャッタースピード優先（ S ）になります。
マニュアル	フロントコマンドダイヤルを回して、絞りの操作ができます。絞り優先（ A ）またはマニュアル（ M ）になります。

ロック

カメラのボタンや機能をロックして誤操作を防止できます。機能別にロックするボタンや機能を選ぶこともできます。


サブメニュー	内容
ロック指定	<ul style="list-style-type: none">解除：ロック指定を解除します。全てロック：機能別ロック設定で選択できる全てのボタンや機能を一括でロックします。機能別ロック：機能別ロック設定で選んだボタンや機能をロックします。
機能別ロック設定	ロック指定で機能別ロックを選んだときにロックするボタンや機能を選びます。

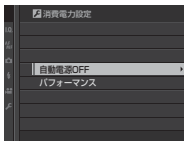


MENU/OK ボタンを長押ししてもボタンロックできますが、セレクトボタンと **Q** ボタンのみのロックとなります（ 4）。

セットアップメニュー (消費電力設定)

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、消費電力設定を選びます。



自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。


パフォーマンス

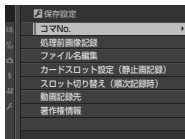
ブーストを選ぶと、カメラの AF 性能やファインダー表示の性能がアップします。

設定	AF 性能 (速さ)	ファインダー表示	
		画質	フレームレート
ブースト	最速	高画質	約 100fps
ノーマル	標準	標準	約 60fps

セットアップメニュー (保存設定)

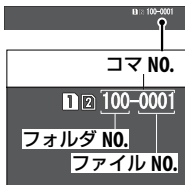
画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**保存設定**を選びます。




コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO. (フォルダ NO. - ファイル NO.) の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。



- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
-  **基本設定 > リセット**を行っても**コマ NO.** はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

処理前画像記録

ON にすると、赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。

設定値	
ON	OFF

ファイル名編集

ファイル名 (DSCF****/_DSF****) をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

カードスロット設定（静止画記録）

2枚のメモリーカードへの記録方法を変更できます。

設定	説明
順次記録	使用しているメモリーカードスロットのメモリーカードの容量がなくなったら、もうひとつのメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。
RAW/JPEG 分割記録	メモリーカードスロット1のメモリーカードにはRAW画像を、メモリーカードスロット2のメモリーカードにはJPEG画像をそれぞれ保存します。

スロット切り替え（順次記録時）

カードスロット設定（静止画記録）が順次記録のときに、記録するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

設定値	
スロット1	スロット2

動画記録先

動画を記録するメモリーカードスロットを変更できます。

設定	説明
スロット 1	動画ファイルをメモリーカードスロット 1 に挿入されているメモリーカードに記録します。
スロット 2	動画ファイルをメモリーカードスロット 2 に挿入されているメモリーカードに記録します。

著作権情報

撮影時の著作権情報を画像の Exif 情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

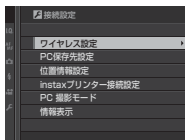
設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、著作権情報の削除を行ってから撮影してください。



セットアップメニュー (接続設定)

他機器との接続に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定** (セットアップ) タブを選び、**接続設定**を選びます。



ワイヤレス設定

無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。


サブメニュー	内容
共通設定	<ul style="list-style-type: none"> 名前：無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。 設定初期化：無線 LAN 通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。
スマートフォン送信時 3M 圧縮	<p>スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。スマートフォン送信時 3M 圧縮を ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ON：画像サイズを 3M に圧縮して送信します。ON での使用をおすすめします。 OFF：元画像のサイズのままで送信します。
PC 保存設定	<ul style="list-style-type: none"> 保存先削除：設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。 前回接続情報：直前に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。

サブメニュー	内容
アクセス ポイント設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単設定: アクセスポイントに簡単接続で接続します。 ● 手動設定: アクセスポイントにマニュアル操作で接続します。無線 LAN ルーター選択、SSID 入力を手動で行います。
IP アドレス 設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動: IP アドレスを自動で設定します。 ● 手動: IP アドレスを手動で設定します。IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイの設定をそれぞれ手動で行います。

PC 保存先設定

PC 保存の保存先を設定します。

設定	説明
簡単設定	無線 LAN ルーターに簡単接続 (WPS) で接続し、保存先 (PC) を設定します。
手動設定	無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、保存先 (PC) を設定します。 無線 LAN ルーター選択 、 SSID 入力 を手動で行います。

 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

位置情報設定

スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。

設定	説明
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録させるかどうかを設定します。
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。



位置情報の取得方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。


プリンター名（SSID）とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



PC 撮影モード

PC 撮影機能を使用して撮影（テザー撮影）するときのモードを設定します。

設定	説明
OFF	PC 撮影機能を使用しないときに選びます。
USB 自動	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的に PC 撮影モードになります。接続していないときは OFF と同じ通常のカメラとして動作します。
USB 固定	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続していない時も PC 撮影モードになります。工場出荷時の設定では撮影画像がメモリーカードに記録されません。PC 撮影中に USB ケーブルが抜けるなどの異常が発生した場合も、再度 USB ケーブルを接続すると、撮影画像がパソコンに転送、保存されます。
ワイヤレス固定	ワイヤレス接続で PC 撮影モードになります。  接続設定 > ワイヤレス設定 でアクセスポイントを設定してください。



消費電力設定 > 自動電源 OFF の設定は、PC 撮影中も有効になります。PC 撮影中にオートパワーオフをさせたくない場合は、**自動電源 OFF** を **OFF** に設定してください。



「Adobe® Photoshop® Lightroom®」、「HS-V5」、「FUJIFILM X Acquire」を使用すると、PC 撮影機能が使用できます。「Adobe® Photoshop® Lightroom®」を使用する場合は別売の「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」または別売の「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」が必要です。「HS-V5」を使用する場合は、別売の「PC 撮影専用ソフトウェア HS-V5」が必要です。「FUJIFILM X Acquire」は富士フィルムのホームページから無償でダウンロードできます。

情報表示

カメラ本体の MAC アドレスを表示します。

ショートカット機能



ショートカット機能について

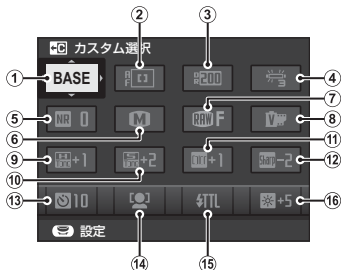
用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

このカメラでは、よく使う機能のメニューを **Q** メニューやマイメニューに登録して使用したり、**Fn** (ファンクション) ボタンで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	📖
Qメニュー	Q ボタンを押すと Q メニューが表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 Q メニューで設定値を変更することもできます。	249
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。 MENU/OK ボタンを押して、 MV (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	258
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能を呼び出すことができます。	254

Q (クイックメニュー) ボタン

Q ボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。



工場出荷時の設定

① カスタム選択	⑨ ハイライトトーン
② AFモード	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ カラー
④ ホワイトバランス	⑫ シャープネス
⑤ ノイズリダクション	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ 顔検出 / 瞳 AF 設定
⑦ 画質モード	⑮ フラッシュ機能設定
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ EVF/LCD 明るさ

各メニュー(②～⑯)には、それぞれの設定値が表示されます。
各メニュー項目は、入れ換えることができます。

カスタム選択について

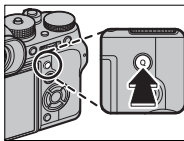
カスタム選択 (①) には、カスタム設定の読み込み状態が表示されます。

- **BASE** : カスタム設定を読み込んでいないときに表示します。
- **C1 ~ C7** : **画質設定 > カスタム登録 / 編集** で登録されたカスタム設定を表示します。
- **BASE** ~ **C7** : 読み込まれたカスタム設定を表示します。

設定の確認と変更

1 撮影画面でQボタンを押します。

クイックメニューが表示されます。



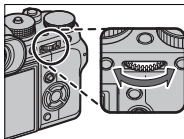
2 設定を変更するメニュー項目を

▲▼◀▶で選びます。



3 リアコマンドダイヤルで設定値を選びます。

- 各設定内容を変更して読み込めませんが、カスタム登録設定内容は変更できません。
- **C1** ~ **C7** を選択中にカスタム登録項目を変更すると赤いマークがつかます。



4 Qボタンを押します。

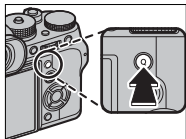
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 撮影画面でQボタンを長押しします。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OKボタンを押します。



割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|---|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 画像サイズ | <input type="radio"/> AF-C カスタム設定 |
| <input type="radio"/> 画質モード | <input type="radio"/> 顔検出 / 瞳 AF 設定 |
| <input checked="" type="radio"/> フィルムシミュレーション | <input type="radio"/> MF アシスト |
| <input checked="" type="radio"/> グレイン・エフェクト | <input type="radio"/> セルフタイマー |
| <input checked="" type="radio"/> ダイナミックレンジ | <input type="radio"/> シャッター方式 |
| <input checked="" type="radio"/> ホワイトバランス | <input type="radio"/> フラッシュ機能設定 |
| <input checked="" type="radio"/> ハイライトトーン | <input type="radio"/> フラッシュ調光補正 |
| <input checked="" type="radio"/> シャドウトーン | <input type="radio"/> 動画モード |
| <input checked="" type="radio"/> カラー | <input type="radio"/> マイクレベル設定 |
| <input checked="" type="radio"/> シャープネス | <input type="radio"/> EVF/LCD 明るさ |
| <input checked="" type="radio"/> ノイズリダクション | <input type="radio"/> EVF/LCD 鮮やかさ |
| <input checked="" type="radio"/> カスタム選択 | <input type="radio"/> なし |
| <input type="radio"/> AF モード | |



- 印はカスタム登録が可能なメニューです。
- なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- カスタム選択を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

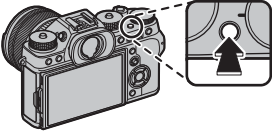
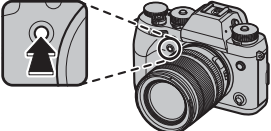
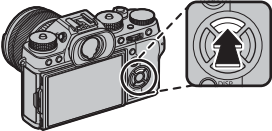
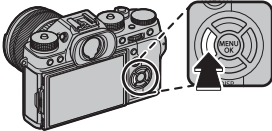
- 3** 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK**ボタンを押します。
クイックメニューにメニューが割り当てられます。

 クイックメニューの割り当ては、 **操作ボタン・ダイヤル設定** > **クイックメニュー登録 / 編集**からも設定できます。

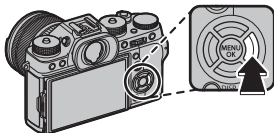
Fn (ファンクション) ボタン

ファンクションボタンには機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は以下のとおりです。

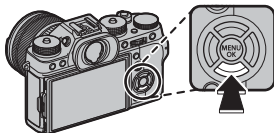
Fn1 ボタン	Fn2 ボタン
 <p data-bbox="161 710 394 740">顔検出 / 瞳 AF 設定</p>	 <p data-bbox="615 710 767 740">ドライブ設定</p>
Fn3 ボタン	Fn4 ボタン
 <p data-bbox="218 1040 339 1069">AF モード</p>	 <p data-bbox="532 1040 847 1069">フィルムシミュレーション</p>

Fn5 ボタン



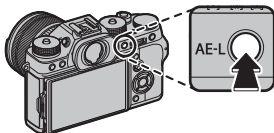
ホワイトバランス

Fn6 ボタン



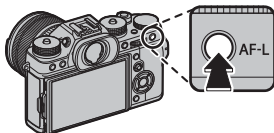
パフォーマンス

AE-L ボタン



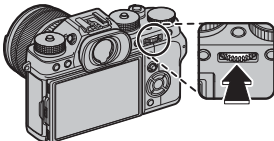
AE ロックのみ

AF-L ボタン



AF ロックのみ

リアコマンドダイヤル中央押し

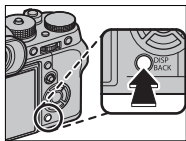


フォーカスチェック

ファンクションボタンの割り当て変更

DISP/BACK ボタンを長押しすると、ファンクションボタンの割り当て設定画面を表示できます。

- 1** 撮影画面で**DISP/BACK**ボタンを長押しします。



- 2** 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- ドライブ設定
- セルフタイマー
- シャッター方式
- 感度 AUTO 設定
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- マイクレベル設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- モニター撮影効果反映
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- 絞り設定
- ロック指定
- パフォーマンス
- 再生モード
- なし

- 3** 割り当てる機能を選び、**MENU/OK**ボタンを押します。



- なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- セレクターボタンだけで、2つ以上の機能を同時に動作させることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn/AE-L/AF-L ボタン設定**からも設定できます。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押してシャッターボタン半押し
の状態を保つことができます。

モデリング発光の割り当て

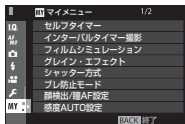
モデリング発光を割り当てたボタンを押すと、撮影前に、
被写体の影の出かたなどを確認するためのモデリング発光
を行えます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**フラッシュ設定 > TTL-LOCK モード**で設定されているモードでロック
できます (📖 163)。

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY** (マイメニュー) タブを選びます。

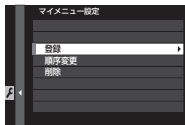


! **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY** (マイメニュー) タブを選ぶことはできません。

マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶと表示されます。

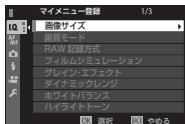
- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定** を選びます。
メニューが表示されます。



📁 **順序変更** を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

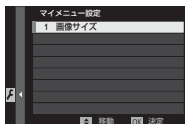
- 2 ▲▼で登録を選び、MENU/OKボタンを押します。

登録可能なメニューが青文字で表示されます。



登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

- 3 登録するメニューを選び、MENU/OKボタンを押します。
マイメニューが登録されます。



- 4 MENU/OKボタンを押します。
マイメニュー登録画面に戻ります。

- 5 手順3と4を繰り返して、マイメニューを登録します。



最大 16 項目 (8×2 ページ) のメニューが登録できます。

MEMO

オプション品・外部機器 の使い方

クリップオンフラッシュ / シンクローターミナル

別売のクリップオンフラッシュを使うと、同梱フラッシュよりも高光量の撮影をお楽しみいただけます。別売のクリップオンフラッシュには、同調速度よりも高速シャッターに対応するFP（ハイスピードシンクロ）発光対応の製品や、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。



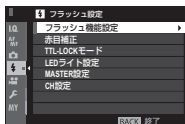
カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

クリップオンフラッシュ・シンクローターミナルを設定する


1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの **4** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニューや設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	
シンクローターミナル	シンクローターミナルにフラッシュを接続している場合に表示されます。シンクローターミナル、他社製フラッシュ等ホットシューのX接点のみを使用した撮影で使用します。また、外部フラッシュが何も接続されていない場合でも、このメニューが表示されます。	265
同梱フラッシュ	同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 を接続して、ポップアップしている場合に表示されます。	267
クリップオンフラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	269
MASTER (光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したマスターフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	273

 同梱フラッシュ EF-X8 を接続してポップアップしていない場合や、ホットシューに別売フラッシュが接続されていない場合は、**シンクローターミナル**の設定画面が表示されます。

3 フラッシュの設定を変更します。

▲▼◀▶ で変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 DISP/BACKボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、**[F]** フラッシュ設定 > 赤目補正を **OFF** 以外に設定します。**[AF]** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出を **ON** に設定する必要があります。

シンクローターミナル

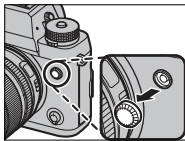
シンクローターミナルにフラッシュを接続している場合に表示されます。



設定	説明	
① モード (発光モード)	シンクローターミナル、ホットシュー X 接点からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。	
	設定	説明
	M	撮影に同期して、シンクローターミナル、ホットシュー X 接点からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッター速度を設定してください。
③ OFF (OFF)	シンクローターミナル、ホットシュー X 接点からトリガー信号を発行しません。	
② 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。	
	設定	説明
	FRONT (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
REAR (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。	

シンクローターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュをお使いになるときは、シンクロコードをシンクローターミナルに接続してください。





















同梱フラッシュ

同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 を使用するときに表示されます。



設定	説明										
① モード (発光モード)	フラッシュの発光モードを選びます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TTL</td> <td>TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。</td> </tr> <tr> <td>コマ (コマンダー)</td> <td>スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときを選択します。</td> </tr> <tr> <td>OFF (OFF)</td> <td>フラッシュを使用しません。 OFF に設定しても、シンクローターミナルに接続したフラッシュは撮影に同期して発光させることができます。シンクローターミナルに接続したフラッシュも OFF にしたい場合は、EF-X8 をポップダウンしてから、フラッシュ機能設定メニューを開いてください。シンクローターミナルの動作設定が可能になります。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。	M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。	コマ (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときを選択します。	OFF (OFF)	フラッシュを使用しません。 OFF に設定しても、シンクローターミナルに接続したフラッシュは撮影に同期して発光させることができます。シンクローターミナルに接続したフラッシュも OFF にしたい場合は、EF-X8 をポップダウンしてから、フラッシュ機能設定メニューを開いてください。シンクローターミナルの動作設定が可能になります。
	設定	説明									
	TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。									
	M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。									
コマ (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときを選択します。										
OFF (OFF)	フラッシュを使用しません。 OFF に設定しても、シンクローターミナルに接続したフラッシュは撮影に同期して発光させることができます。シンクローターミナルに接続したフラッシュも OFF にしたい場合は、EF-X8 をポップダウンしてから、フラッシュ機能設定メニューを開いてください。シンクローターミナルの動作設定が可能になります。										

設定	説明								
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	フラッシュの調光補正または発光量を設定します。設定値は選択している発光モードによって異なります。								
③ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (フラッシュ発光 AUTO)</td> <td>被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。</td> </tr> <tr> <td> (スタンダード)</td> <td>一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td> </tr> <tr> <td> (スローシンクロ)</td> <td>夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。	 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。	 (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
	設定	説明							
	 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。							
 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								
 (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								
④ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。								
④ 同調モード	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (先幕)</td> <td>シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</td> </tr> <tr> <td> (後幕)</td> <td>シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。	 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。		
	設定	説明							
 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。								
 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。								








クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを接続して、フラッシュの電源がオンのときに表示されます。



設定	説明	
① モード (発光モード)	フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。	
	設定	説明
	TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。
	M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光量で発光強度を変更できます。
	Multi	対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光（マルチ発光）します。
OFF (OFF)	フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。	

設定	説明
<p>② 調光補正 / 発光量 (発光強度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL のときに、調光補正量を調整できません。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。 • モードが M のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 (1/1) から 1/512 発光まで、1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。 • モードが Multi のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、1/4 発光から 1/512 発光まで 1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。

設定	説明	
③ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。	
	設定	説明
	 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
	 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
 (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。	
④ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。	
	設定	説明
	 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
	 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。
 (AUTO FP(HSS))	FP(ハイスピードシンクロ)に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕となります。	

設定	説明										
⑤ ズーム設定	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。 AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。										
⑥ 配光設定 (配光特性)	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (光量優先)</td> <td>フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。</td> </tr> <tr> <td> (スタンダード)</td> <td>撮影画角に対して最適な照射角にします。</td> </tr> <tr> <td> (配光優先)</td> <td>照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。	 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。	 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。		
	設定	説明									
	 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。									
 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。										
 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。										
⑦ LED ライト 設定	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵のLEDライトの用途を設定できます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (キャッチライト)</td> <td>キャッチライトのみ使用します。</td> </tr> <tr> <td>AF (AF 補助光)</td> <td>AF 補助光のみ使用します。</td> </tr> <tr> <td> (AF 補助光 + キャッチライト)</td> <td>AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>どちらも使用しません。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (キャッチライト)	キャッチライトのみ使用します。	AF (AF 補助光)	AF 補助光のみ使用します。	 (AF 補助光 + キャッチライト)	AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。	OFF	どちらも使用しません。
設定	説明										
 (キャッチライト)	キャッチライトのみ使用します。										
AF (AF 補助光)	AF 補助光のみ使用します。										
 (AF 補助光 + キャッチライト)	AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。										
OFF	どちらも使用しません。										
⑦ TIMES* (発光回数)	モードが Multi のときに、1回の撮影における発光回数を設定します。										
⑧ Hz* (発光周波数)	モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。										

* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

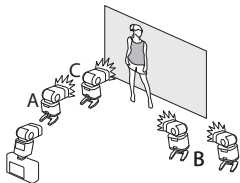
MASTER (光通信)

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュを接続している場合に表示されます。




富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けの際に便利です。



















また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



設定	説明											
① A グループ モード (発光モード)	それぞれのグループの発光モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • A、B グループは TTL/TTL%/M/Multi/OFF から選択できます。 • C グループは TTL/M/Multi/OFF から選択できます。 											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TTL</td> <td>TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。</td> </tr> <tr> <td>TTL%</td> <td>A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。</td> </tr> <tr> <td>Multi</td> <td>A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。</td> </tr> <tr> <td>OFF (OFF)</td> <td>OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	TTL	TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。	TTL%	A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。	M	M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。	Multi	A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。	OFF (OFF)
設定	説明											
TTL	TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。											
TTL%	A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。											
M	M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。											
Multi	A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。											
OFF (OFF)	OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。											
② B グループ モード (発光モード)												
③ C グループ モード (発光モード)												

設定	説明
④ A グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL に設定されているときは調光補正を設定できます。
⑤ B グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<ul style="list-style-type: none"> • モードが M/Multi に設定されているときは発光強度を設定できます。 • モードが TTL% に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。
⑥ C グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</p>

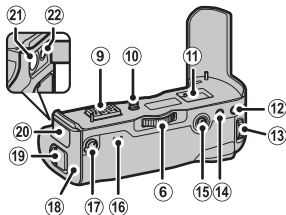
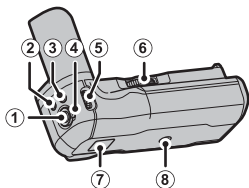
設定	説明	
⑦ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード（P、S、A、M）によって選択可能な設定が異なります。	
	設定	説明
	☑ (フラッシュ 発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
	☑ (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
☑ (スロー シンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。	

設定	説明								
⑧ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (先幕)</td> <td>シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</td> </tr> <tr> <td> (後幕)</td> <td>シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</td> </tr> <tr> <td> (AUTO FP(HSS))</td> <td>FP(ハイスピードシンクロ)に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP(ハイスピードシンクロ)と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動でFPになります。モードが Multi のときは、先幕となります。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。	 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。	 (AUTO FP(HSS))	FP(ハイスピードシンクロ)に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP(ハイスピードシンクロ)と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動でFPになります。 モードが Multi のときは、先幕 となります。
	設定	説明							
	 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。							
 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。								
 (AUTO FP(HSS))	FP(ハイスピードシンクロ)に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP(ハイスピードシンクロ)と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動でFPになります。 モードが Multi のときは、先幕 となります。								
⑨ ズーム設定	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。 AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。								
⑩ 配光設定 (配光特性)	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光(照射角)特性を変更できます。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (光量優先)</td> <td>フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。</td> </tr> <tr> <td> (スタンダード)</td> <td>撮影画角に対して最適な照射角にします。</td> </tr> <tr> <td> (配光優先)</td> <td>照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。	 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。	 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。
	設定	説明							
	 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。							
 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。								
 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。								

設定	説明										
⑪ MASTER 設定 (MASTER 発光設定)	モードが TTL 、 TTL% 、 M のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスタフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Gr A</td> <td>A グループに設定します。</td> </tr> <tr> <td>Gr B</td> <td>B グループに設定します。</td> </tr> <tr> <td>Gr C</td> <td>C グループに設定します。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	Gr A	A グループに設定します。	Gr B	B グループに設定します。	Gr C	C グループに設定します。	OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。
	設定	説明									
	Gr A	A グループに設定します。									
	Gr B	B グループに設定します。									
Gr C	C グループに設定します。										
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。										
⑪ TIMES (発光回数)	モードが Multi のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。										
⑫ CH 設定	マスタフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。										
⑫ Hz (発光周波数)	モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。										

縦位置パワーブースターグリップ

別売の縦位置パワーブースターグリップ VPB-XT2 を装着すると、カメラ本体のバッテリーと合わせてバッテリー容量を増加させることができます。また、縦位置撮影の操作性が向上します。



- ① シャッターボタン
- ② **Q** (クイックメニュー) ボタン
- ③ **Fn** (ファンクション1) ボタン
- ④ キーロックスイッチ
- ⑤ フロントコマンドダイヤル/
割り当て切替ボタン
- ⑥ 着脱ダイヤル
- ⑦ ストラップ取り付け部
- ⑧ 三脚ねじ穴
- ⑨ 端子
- ⑩ 装着ねじ
- ⑪ 端子カバー (カメラに付属)
収納スペース

- ⑫ **AE-L** ボタン
- ⑬ リアコマンドダイヤル/
フォーカスアシストボタン
- ⑭ **AF-L** ボタン
- ⑮ フォーカスレバー
- ⑯ インジケータランプ
- ⑰ パフォーマンス切替スイッチ
- ⑱ バッテリートレイ
- ⑲ バッテリーカバーロック
- ⑳ 端子カバー
- ㉑ DCIN 9V 端子
- ㉒ ヘッドホン端子



それぞれの機能ボタンとコマンドダイヤルはカメラ本体の操作と同じです。

パワーブースターグリップの使い方

パワーブースターグリップを装着してパワーブーストモードにすると、連写コマ数やリリースタイムラグの性能がアップします。パワーブーストモードの切り替えは**パフォーマンス切替スイッチ**で行います。


設定	連写コマ数	リリースタイムラグ
ブースト	11 fps*/8.0fps	45 msec*
ノーマル	8.0fps	50msec

* 残量が残っているバッテリーが2個以上必要となります。ACパワーアダプター使用時は、本体内に残量が残っているバッテリーが必要となります。



- 動画、長時間露光、連写、インターバル撮影時はバッテリー残量や温度によっては、撮影が終了する場合があります。
- グリップをカメラに取り付けたり、取り外したりするときやバッテリーを交換するときは、カメラの電源をオフにしてください。
- グリップでは、NP-W126 と NP-W126S の両方のバッテリーを使用できます。



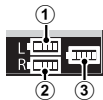
-  **消費電力設定 > パフォーマンス**で**ノーマル**を選択していても**パフォーマンス切替スイッチ**による設定が有効となります。
- 電子シャッター使用時の連写コマ数は **14 fps** まで選べます。

縦位置パワーブースターグリップ使用時のバッテリー残量表示

縦位置パワーブースターグリップ使用時は、挿入されているバッテリーの残量をそれぞれ表示します。

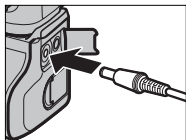
- 挿入されているバッテリー残量のみ表示されます。
- フル充電のバッテリーを3本使用したときは、次の順序でバッテリー容量が空になります。

- ① パワーブースターグリップ (L: 左)
- ② パワーブースターグリップ (R: 右)
- ③ カメラ本体

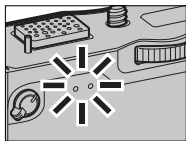


パワーブースターグリップの充電方法

パワーブースターグリップは、カメラの電源をオフにするか、グリップをカメラから取り外した状態で、グリップに付属の AC パワーアダプター AC-9VS を DCIN 9V 端子に差し込んで充電します。




バッテリー充電中はグリップのインジケータランプが緑色に点灯します。右側のランプは右側に入っているバッテリーの状態を表し、左側のランプは左側に入っているバッテリーの状態を表します。



インジケータランプ	バッテリーの状態
消灯	フル充電（充電終了）
緑点灯	充電中
緑点滅	充電異常

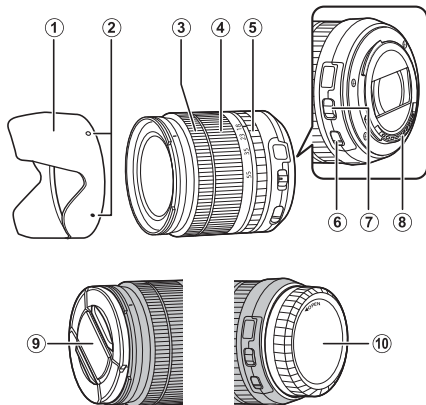


- 充電時間は約 2 時間です（2 個同時）。
- カメラの電源がオンの場合、充電はされませんが、給電はできます。
- グリップに付属の AC パワーアダプター以外は使用しないでください。
- 充電についてのご注意は「バッテリーを充電する」と「お取り扱いにご注意ください」も併せてご参照ください（ 32、310）。

交換レンズ

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応の交換レンズが使用できます。

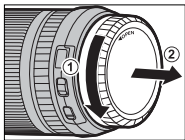
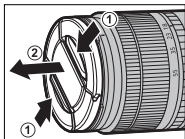
レンズの各部名称



- ① レンズフード
- ② 取り付け指標
- ③ フォーカスリング
- ④ ズームリング
- ⑤ 絞りリング
- ⑥ OIS スイッチ
- ⑦ 絞りモードスイッチ
- ⑧ レンズ信号接点
- ⑨ レンズフロントキャップ
- ⑩ レンズリアキャップ

レンズキャップの取り外し方

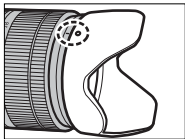
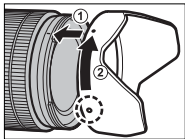
図のようにレンズキャップを取り外します。



❗ レンズキャップは形状が異なることがあります。

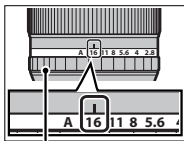
レンズフードの取り付け方

レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。




絞りリング付きレンズについて

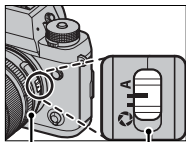
レンズで絞りを **A** 以外に設定しているときは、レンズの絞りリングで絞りを調整できます (**A** (絞り優先) または **M** (マニュアル) モードのとき)。



絞りリング

絞りモードスイッチがあるレンズの場合

絞りモードスイッチがあるレンズでは、絞りモードスイッチを  の位置に設定すると、レンズの絞りリングで絞りを調整できます。



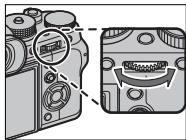
絞りモードスイッチ



絞りを **A** に設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞りを調整します。

絞りリングなしレンズについて

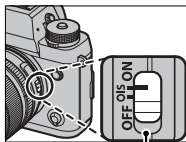
絞りリングなしレンズを使用しているときは、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **絞り設定**で操作方法を選択できます。絞り設定でオート以外を設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞りを調整します。



絞り設定調整の工場出荷設定は、フロントコマンドダイヤルに設定されています。**操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル設定**で、リアコマンドダイヤルに設定を変更することもできます。

手ブレ補正対応レンズについて

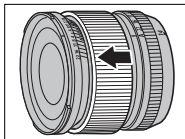
手ブレ補正対応レンズを使用しているときは、カメラのメニューでブレ防止モードを設定できます。レンズに手ブレ補正のスイッチ(OISスイッチ)がある場合は、OISスイッチを**ON**の位置に合わせると、手ブレ補正機能が使用できます。



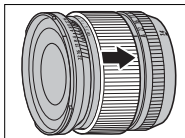
OIS スイッチ

フォーカスリングの移動により MF 撮影が可能なレンズについて

- **AF** 時は、フォーカスリングをフロント側にセットしてください。



- **MF** 時は、フォーカスリングをリア側にセットしてください。



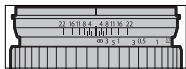
ライブビューで画像を確認しながらフォーカスリングを回し、ピントを調整してください。距離指標と被写界深度目盛を活用した目測による **MF** 撮影も容易に行えます。

- ❗ フォーカスリングをリア側 (**MF**) に移動しても、撮影モードによっては、**MF** 撮影できない場合があります。

被写界深度目盛

絞り値によるピントの合う範囲の目安は、被写界深度目盛で確認できます。

- レンズの被写界深度スケールは、フィルム基準です。



交換レンズのお手入れ

- 使用後は、ブローブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、フジフィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

11 他機器との接続

HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

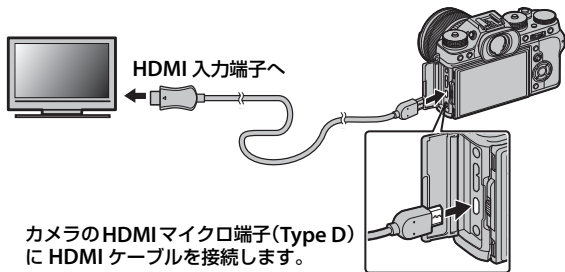
撮影画面の出力

4K 映像またはフル HD 映像のライブビューや動画をテレビに表示したり、外部レコーダーに保存したりできます。

再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



3 テレビの入力をHDMI入力に切り替えます。

テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

4 カメラの電源をオンにし、▶（再生）ボタンを押します。

カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



- ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。
- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。



音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

無線 LAN 機能で接続

カメラとスマートフォンやパソコンを無線 LAN で通信できます。

無線 LAN 機能の使用方法とアプリケーションのダウンロード方法については以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

富士フィルム Wi-Fi アプリ



スマートフォンと通信

☑ 撮影設定または 再生メニュー > ワイヤレス通信で、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



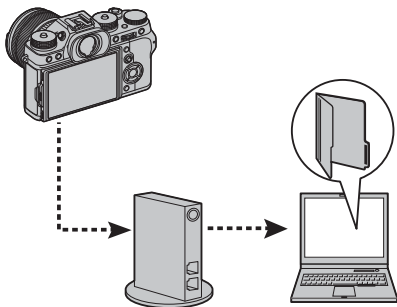
スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Remote**」をインストールしておく必要があります。

パソコンに画像を保存

再生メニュー＞PC保存で、無線LANを使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。



この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめPCアプリケーション「**FUJIFILM PC AutoSave**」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。

USB ケーブルでパソコンと接続

USB ケーブルでパソコンに接続すると、PC 撮影機能を使用したり、メモリーカードに撮影した画像をパソコンに転送したりできます。

PC 撮影機能を使用する

Mac OS X / macOS をお使いの方

「Adobe® Photoshop® Lightroom®」 と 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」 または 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」 をご購入いただくと PC 撮影機能を使用できます。「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」、 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」 は Adobe Add-ons サイトよりご購入ください。

Windows をお使いの方

「Adobe® Photoshop® Lightroom®」 と 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」 または 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」 をご購入いただくか、「PC 撮影専用ソフトウェア HS-V5」 をご購入いただくと、PC 撮影機能を使用できます。「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」、 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」 は Adobe Add-ons サイトよりご購入ください。

FUJIFILM X Acquire

富士フィルムのホームページから「FUJIFILM X Acquire」をダウンロード（無償）して PC 撮影機能をご使用いただくことも可能です。

メモリーカードに撮影した画像を転送する

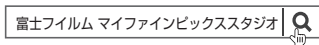
Mac OS X / macOS をお使いの方

Mac OS X / macOS をお使いの方は、OS 標準アプリケーションの**イメージキャプチャ**などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windows をお使いの方

Windows をお使いの方は **MyFinePix Studio** を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。**MyFinePix Studio** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

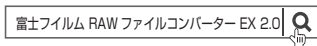


ダウンロードしたファイル「**MFPS_Setup.EXE**」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。表示される指示にしたがって、インストールしてください。

RAW 画像をパソコン上で現像するには

RAW FILE CONVERTER EX 2.0 を使うと、RAW 画像をパソコン上で現像できます。**RAW FILE CONVERTER EX 2.0** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

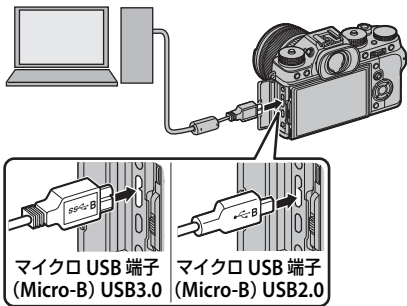
<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>



カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。

- 1 パソコンを起動します。
- 2 カメラの電源をオフにします。
- 3 USBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



! USB3.0 と USB2.0 のどちらのケーブルも使用できます。USB3.0 に対応したパソコンをお使いの場合は、USB3.0 のケーブルを使用するとより高速で画像を転送できます。

-
- 4 カメラの電源をオンにします。

 - 5 パソコンにインストールしたアプリケーションでPC撮影または画像を取り込みます。
 - **PC撮影機能をご使用の場合**：「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」などでPC撮影を行ってください。
 - **画像転送機能をご使用の場合**：MyFinePix Studio や OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。

 - 6 画像の取り込みが完了したら、カメラの電源をオフにしてからUSBケーブルを外してください。



- USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- USB ケーブルは、長さが 1.5m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、カメラの電源をオフにしたり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

instax SHARE プリンターと接続

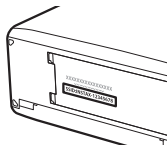
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。

プリンターとの接続を設定する

■ **接続設定** > **instax プリンター接続設定**を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。




画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。


2 再生メニュー > instaxプリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が始まります。



 連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

3 プリントしたい画像を選び、MENU/OKボタンを押します。





- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが始まります。

12

資料

カメラで使えるアクセサリ

別売アクセサリ

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。最新情報については、<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html> をご覧ください。

充電式バッテリー NP-W126/NP-W126S：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。



バッテリーチャージャー BC-W126：充電式バッテリー NP-W126/NP-W126S を充電します。充電時間は約 150分 (+20℃において) です (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。



AC パワーアダプター AC-9V：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。ご使用になる場合は、必ず DC カプラー CP-W126 と併用してお使いください。

DC カプラー CP-W126：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に AC パワーアダプター AC-9V と併用してお使いください。

リモートリリース RR-90：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。



ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。



XF シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。



XC シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。



クリップオンフラッシュ EF-X500：ガイドナンバー最大 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光に対応しています。また、富士フィルム光通信多灯システムのマスターフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。TTL 自動調光機能、マニュアル発光機能、24 ~ 105 mm (35 mm フィルム換算) のオートズーム機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、下 10°、左 135°、右 180°です。単三電池 4 本を使用し、別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。



クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能のみを搭載しており、マニュアル発光には対応していません。バウンス角度は上 90°です。単三電池 2 本を使用します。



クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24 ~ 105 mm (35 mm フィルム換算) のオートズーム機能、マニュアル発光機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120°です。単三電池 4 本を使用します。



クリップオンフラッシュ EF-X20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。単四電池 2 本を使用した小型、軽量のフラッシュで、TTL 調光補正、マニュアル発光強度をダイヤルで設定できます。



縦位置パワーブースターグリップ VPB-XT2：装着することで縦位置での撮影がしやすくなります。また、バッテリー容量を増やすことができます。



ハンドグリップ MHG-XT2：カメラのホールディング性を高めます。カメラに装着したままバッテリー/メモリーカードの出し入れが可能です。クイックシュー式の雲台に対応するアリガタレール形状をしています。

レザーケース BLC-XT2：本革製ケースです。カメラに装着したままの撮影や、バッテリーの出し入れが可能です。バッグに収納する際にカメラを包むことができるラッピングクロスを同梱しています。

グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。ハンドグリップと組み合わせてお使いいただくことにより、さらに安定性が向上いたします。

マクロエクステンションチューブ MCEX-11/16：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

テレコンバーター XF1.4X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 1.4 倍にするテレコンバーターです。

テレコンバーター XF2X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 2.0 倍にするテレコンバーターです。

M マウントアダプター：豊富なバリエーションを持つ M マウントレンズをカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

ボディキャップ BCP-001：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

カバーキット CVR-XT2：X-T2 用カバーキットです。

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

お取り扱いにご注意ください


ご使用前に必ずお読みください


安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。


- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。



煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。

⚠ 警告

内部に水や異物を落とさない。



水ぬれ禁止

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。



接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（ \oplus \ominus ）表示どおりに入れてください。

⚠ 警告

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。



リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。

電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。



視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。



低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合、三脚などをお使いください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

⚠ 警告

電源を入れたまま長時間、身体と同じ箇所に直接触れて使用しない。低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。



- 長時間で使用になる場合
- 気温の高い環境で使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。



メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。

メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。



飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

異常な高温になる場所に置かない。



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。

本製品の上に重いものを置かない。



バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。



電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。



熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。



火災・感電の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。



火災・感電の原因になることがあります。

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。



電源プラグを抜く

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。



飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。



本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

・2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

- ※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。

- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が + 15℃ ~ + 25℃ くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険です。次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.com/>

■ AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。

弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。詳細は <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> をご覧ください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるとありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得得であろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。


■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- 、xD-Picture Card ™、xD-ピクチャーカード™は、富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop ならびに Lightroom は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi® および Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- HDMI ロゴは、商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあとと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。

- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなる場合があります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意 この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



水をかけたり、水にぬらしたりしない。

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

分解禁止

火災・感電の原因になります。

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

⚠ 警告

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。



接触禁止

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



レンズまたはカメラで直接太陽をみない。

失明や視力障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

ケガの原因になることがあります。



濡れた手で触らない。

感電の原因になることがあります。

逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。



太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。

使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。



太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。

転倒したり、ぶついたりしてケガの原因になることがあります。

重要！本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

! 本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ（画像）の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようにお手入れすることをおすすめします。

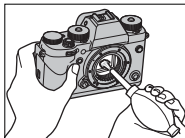
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブローブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **基本設定 > センサークリーニング**で行えます。**センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブローアでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

センサークリーニング

■ **基本設定** > **センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブローアードでほこりを取り除いてください。

❗ クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社サービスステーションでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

- 1 センサーの表面に付着したほこりをブローアード（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



- 2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。
- 3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。

- ❏ ブローアードはブラシの付いていないものを使用してください。ブローアードのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
- 取り除けていない場合は、再度ブローアードでクリーニングしてください。

ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種のファームウェア更新情報をご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>

富士フィルム ファームウェア



ファームウェアバージョンの確認方法

! バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないとできませんので、ご注意ください。

- 1 カメラの電源をオフにします。
メモリーカードが入っていることを確認します。
- 2 **DISP/BACK**ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。
- 3 バージョンの確認ができれば、電源をオフにしてください。

📷 交換レンズのファームウェアバージョンは、カメラボディにレンズを装着して確認します。

トラブルシューティング / FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	📖
バッテリー、電源について	ON/OFF （電源） レバーを ON に合わせても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。 30
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。 34
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかり閉めてください。 34
	ON/OFF （電源） レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	シャッターボタンを半押ししてください。 —
バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。 —	

症状		ここをチェック！	処置	📖
バッテリー、電源について	バッテリーの消耗が早いです。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		プリ AF を ON に設定していませんか？	プリ AF を ON で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	140
		同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性もあります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	30
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	30 34
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていますか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—

症状		ここをチェック！	処置	📖
充電について	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	34
		バッテリーの寿命または故障の可能性が あります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	302 360

メニューなどの設定時

症状		ここをチェック！	処置	📖
メニューが日本語以外で表示されています。		言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	46 206

撮影時

症状		ここをチェック！	処置	📖
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	37 182
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	203
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	37
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	30
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	42
		他社製のマウントアダプターを使用していますか？	レンズなしリリースをON にしてください。	232
シャッターボタンを半押しすると、EVFやLCDにノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—	

症状		ここをチェック！	処置	📖
ピントについて	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	93
顔検出について	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	141
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	—
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	
ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔検出を使わずに AF/AE ロック撮影してください。	93	

症状		ここをチェック！	処置	📖
フラッシュについて	同梱フラッシュが発光しません。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	30
	同梱フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	—
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが $1/250$ 秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを $1/250$ 秒以下に設定してください。	64 72


症状		ここをチェック！	処置	📖
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	288
		レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	49
		撮影時に AF フレーム (赤点灯) と !AF が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	50
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター (長時間露光) 撮影しましたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。 ピクセルマッピング を実行してください。	130
	画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	42
		温度警告が表示されていませんか？		

再生時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	213
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがないでください。	—
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	—
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使ください。	187
	全コマ消去したのに画像が残っています。			

症状	ここをチェック！	処置	📖	
コマナンバーについて	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときには電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	238



接続時

症状	ここをチェック！	処置	📖	
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	290
	カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	VIEW MODE ボタンによる切り替えが EVF ONLY +  になっていませんか？	ファインダーに目を近づけてください。 VIEW MODE ボタンを押して、他の設定に変更してください。	
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
	テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。		

症状		ここをチェック！	処置	📖
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USBケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	294
	撮影したRAWまたはJPEGなどの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	MyFinePix Studio を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	MyFinePix Studio (Windows) を使って、画像を取り込んでください。	

無線 LAN 通信

症状		ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンと接続できません。 スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	292	
	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。		



症状	ここをチェック！	処置	📖
<p>スマートフォンに送信できません。</p>	<p>相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？</p>	<p>スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は1台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。</p>	<p>292</p>
	<p>スマートフォンが近距離に複数台ありますか？</p>	<p>操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。</p>	
	<p>動画や他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？</p>	<p>このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。 動画は送信できません。</p>	
<p>スマートフォンで受信した画像が開けません。</p>	<p>ワイヤレス設定のスマートフォン送信時  圧縮を OFF に設定していませんか？</p>	<p>スマートフォン送信時  圧縮を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。</p>	<p>242</p>

その他


症状	ここをチェック！	処置	ページ	
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	34
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	30
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
カメラが正常に作動しなくなりました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	34 360	
音について	音が出ません。	音設定 で消音に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。	210

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点減)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッター速度表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none">• 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。• 適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none">• 電源を入れ直してください。• 電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとした。	カメラにメモリーカードを入れてください。

警告表示	警告内容	処置
フォーマットされて いません	メモリーカードが フォーマットされて いません。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードがパ ソコンでフォーマッ トされています。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードの接 触面（金色の部分） が汚れています。	メモリーカードの接触面を、 乾いた柔らかい布などでよく 拭いてください。また、フォー マットが必要な場合があります。 それでも警告表示が消え ない場合は、メモリーカードを 交換してください。
	カメラが故障してい ます。	弊社修理サービスセンターに 修理をご依頼ください。
レンズエラー	レンズとカメラの間に 異物が入っています。	カメラの電源をオフにして レンズを取り外し、異物を 取り除いて電源を入れ直し てください。それでも復帰 できないときは、弊社修理 サービスセンターに修理を ご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんで した	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
コマ NO. の上限 です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 コマ NO. を 新規 に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を 連番 に戻すと、引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとした。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとした。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> • プロテクトされているファイルを消しようとした。 • プロテクトされているファイルを回転しようとした。 	プロテクトしたファイルは消去/回転できません。プロテクトを解除してください。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとした。	トリミングできない画像です。

警告表示	警告内容	処置
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 🔊 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	プリント予約できません。
回転できません 🔊 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしてしました。	回転できません。
🔊 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしてしました。	—
📄 実行できません		
4K 設定とモニターが合っていません 動画モードを変更してください	HDMI 接続機器とカメラの動画モードが合っていません。	適切な動画モードに変更すると接続できる場合があります (📖 166)。

警告表示	警告内容	処置
!! (黄)	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。
!! (赤)	カメラの温度が上昇しています。画面にノイズが多くなったり、連写速度、表示のなめらかさなどのパフォーマンスが低下する場合があります。また、動画撮影はできません。	

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード			
			8GB		16GB	
画質		FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	
静止画	3:2	540	800	1110	1660	
	RAW (非圧縮)	150		320		
	RAW (ロスレス圧縮)	310		640		
動画 ^{*1}	2160/29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*2}	9分		20分		
	1080/59.94P, 50P, 29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*3}	9分		20分		
	720/59.94P, 50P, 29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*4}	19分		39分		


- *1 動画を撮影するときは、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをご使用ください。
- *2 連続して記録する場合、約10分で自動的に撮影を停止します。パワーブースターグリップ接続時は、約30分で自動的に撮影を停止します。
- *3 連続して記録する場合、約15分で自動的に撮影を停止します。パワーブースターグリップ接続時は、約30分で自動的に撮影を停止します。
- *4 連続して記録する場合、約30分で自動的に撮影を停止します。

! 動画を連続して撮影した場合、ファイルサイズが4GBを超える場合でも一時中断することなく動画撮影が可能ですが、動画ファイルは分割して保存されるため、それぞれのファイルごとに再生が必要です。

主な仕様

システム																			
製品名	FUJIFILM X-T2																		
製品型番	FF160001																		
有効画素数	約 2430 万画素																		
撮像素子	23.5mm × 15.6mm (APS-C サイズ) X-Trans CMOS III、原色フィルター採用																		
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード (弊社推奨品)																		
メモリーカード スロット	SD カード × 2																		
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> 静止画：DCF 準拠 圧縮：Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 / DPOF 対応 非圧縮 / ロスレス圧縮：RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり 動画：H.264 規格準拠 (MOV)、ステレオ音声付き 																		
記録画素数	<table border="1"> <tr> <td>L 3:2 (6000×4000)</td> <td>L 16:9 (6000×3376)</td> <td>L 1:1 (4000×4000)</td> </tr> <tr> <td>M 3:2 (4240×2832)</td> <td>M 16:9 (4240×2384)</td> <td>M 1:1 (2832×2832)</td> </tr> <tr> <td>S 3:2 (3008×2000)</td> <td>S 16:9 (3008×1688)</td> <td>S 1:1 (2000×2000)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">RAW (6000×4000)</td> </tr> <tr> <td>L パノラマ縦 (2160×9600)</td> <td colspan="2">L パノラマ横 (9600×1440)</td> </tr> <tr> <td>M パノラマ縦 (2160×6400)</td> <td colspan="2">M パノラマ横 (6400×1440)</td> </tr> </table>	L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)	M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)	S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)	RAW (6000×4000)			L パノラマ縦 (2160×9600)	L パノラマ横 (9600×1440)		M パノラマ縦 (2160×6400)	M パノラマ横 (6400×1440)	
L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)																	
M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)																	
S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)																	
RAW (6000×4000)																			
L パノラマ縦 (2160×9600)	L パノラマ横 (9600×1440)																		
M パノラマ縦 (2160×6400)	M パノラマ横 (6400×1440)																		
レンズマウント	FUJIFILM X マウント																		
撮影感度	<ul style="list-style-type: none"> 静止画：ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO 100、125、160、25600、51200 は 拡張モード 動画：ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ) 																		
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点 																		

システム	
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル
露出補正	<ul style="list-style-type: none"> • 静止画：- 5EV ~ +5EV (1/3段ステップ) • 動画：- 2EV ~ +2EV (1/3段ステップ)
シャッター スピード	<ul style="list-style-type: none"> • メカニカルシャッター <ul style="list-style-type: none"> - Pモード時：4秒 ~ 1/8000秒 - 全モード合わせて：15分 ~ 1/8000秒 - タイム：15分 ~ 1/8000秒 - バルブ：最長60分 • 電子シャッター <ul style="list-style-type: none"> - P、S、A、M：30秒 ~ 1/32000秒 - タイム：15分 ~ 1/32000秒 - バルブ：1秒固定 • メカニカル+電子 <ul style="list-style-type: none"> - Pモード時：4秒 ~ 1/32000秒 - 全モード合わせて：15分 ~ 1/32000秒 - タイム：15分 ~ 1/32000秒 - バルブ：最長60分

システム				
連写	連写モード		選択可能な連写速度 (コマ / 秒 [fps]) JPEG	連続記録枚数
	CH	14fps ^{*1}	14	約 42 コマ
		11fps ^{*2}	11	約 51 コマ
		8.0fps ^{*3}	8.0	約 53 コマ
	CL	5.0fps	5.0	約 56 コマ
		4.0fps	4.0	約 58 コマ
		3.0fps	3.0	約 62 コマ
<p>^{*1} 電子シャッター使用時のみ</p> <p>^{*2} 電子シャッター使用時またはパワーブースターグリップ装着時のみ</p> <p>^{*3} パワーブースターグリップ未装着時</p> <p> ご使用のメモリーカードによって異なります。 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。</p>				
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> モード：シングル AF、コンティニュアス AF、マニュアルフォーカス（リング回転式） AF 方式：インテリジェントハイブリッド AF（TTL コントラスト AF + 位相差 AF）、AF 補助光付き AF フレーム選択：シングルポイント、ゾーン、ワイド／トラッキング、オール 			
ホワイトバランス	AUTO、カスタム 1～3、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中			
セルフタイマー	OFF、2秒、10秒			
フラッシュ発光モード	<ul style="list-style-type: none"> モード：TTL（フラッシュ発光 AUTO、スタンダード、スローシンクロ）、マニュアル、コマンダー、OFF 同調モード：先幕、後幕 赤目補正：赤目抑制発光 + 補正処理、赤目抑制発光、補正処理、OFF 			

システム			
アクセサリ シュー	あり (TTL フラッシュ対応)		
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード $1/250$ 秒以下		
シンクロ ターミナル	あり		
ファインダー (EVF)	0.5 型有機 EL ファインダー、約 236 万ドット ファインダー倍率 0.77 倍 (35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、視度 -1.0m^{-1} のとき)、 対角視野 約 38.0 度 (水平視野約 31.0 度) <ul style="list-style-type: none"> 視度調節: $-4\text{m}^{-1} \sim +2\text{m}^{-1}$ (dpt) アイポイント: 約 23mm 		
液晶モニター (LCD)	3.0 型カラー液晶モニター、約 104 万ドット、 3 方向チルト式		
動画 (ステレオ 音声付き)	 2160/29.97P  2160/25P  2160/24P  2160/23.98P	 1080/59.94P  1080/50P  1080/29.97P  1080/25P  1080/24P  1080/23.98P	 720/59.94P  720/50P  720/29.97P  720/25P  720/24P  720/23.98P

入出力端子	
マイク端子	φ 3.5mm ステレオミニジャック
デジタル入出力	マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB3.0/USB2.0 High-Speed
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子 (Type D)
リモート リリース端子	φ 2.5mm

電源部、その他													
電源	充電式バッテリー NP-W126S (付属)												
バッテリー 作動可能 枚数の目安	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの種類：NP-W126S • XF35mmF1.4 R 使用時、P モード時 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">撮影枚数</th> </tr> <tr> <th>パフォーマンス</th> <th>LCD</th> <th>EVF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブースト</td> <td>約 260 枚</td> <td>約 200 枚</td> </tr> <tr> <td>ノーマル</td> <td>約 340 枚</td> <td>約 330 枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。 	撮影枚数			パフォーマンス	LCD	EVF	ブースト	約 260 枚	約 200 枚	ノーマル	約 340 枚	約 330 枚
撮影枚数													
パフォーマンス	LCD	EVF											
ブースト	約 260 枚	約 200 枚											
ノーマル	約 340 枚	約 330 枚											
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	132.5mm × 91.8mm × 49.2 (35.4*) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記												
撮影時質量	約 507g (付属バッテリー、メモリーカード含む)												
本体質量	約 457g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)												
動作環境	<ul style="list-style-type: none"> • 温度：-10℃～+40℃ • 湿度：10%～80% (結露しないこと) 												

ワイヤレス転送部	
準拠規格	IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	アメリカ・カナダ・台湾：2412MHz～2462MHz(11ch) アメリカ・カナダ・台湾以外：2412MHz～2472MHz (13ch)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

クリップオンフラッシュ EF-X8

ガイドナンバー	ガイドナンバー GN8 (ISO 100)、GN11 (ISO 200)
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	39.7mm × 24.2mm × 63.4mm (突起物を除く)
質量	約 41g

バッテリー NP-W126S

公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g

バッテリーチャージャー BC-W126

定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
入力容量	13～21VA
定格出力	DC 8.4V 0.6A
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-W126S
充電時間	約 150分 (+20℃において)
使用温度	5℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	65mm × 91.5mm × 28mm (突起物を除く)
質量	約 77g (本体のみ)

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

! 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【数字】

- 2 画面表示、18, 19
- 2 画面モード表示設定、19, 221
- 4K 映像出力先、168

【A ~ Z】

- A** (オート)、89
- A** (絞り優先撮影)、69
- AE/AF-LOCK 設定、233
- AE/AF ロック、93
- AE-L** (AE ロック) ボタン、94
- AE-L/AF-L ボタン設定、226
- AE ロック、94
- AF-ON、227, 257
- AF-L** (AF ロック) ボタン、94
- AF-C カスタム設定、135
- AF+MF、143
- AF モード、134
- AF (オートフォーカス)、74
- AF 警告、9
- AF 合焦音量、210
- AF 補助光、141
- AF ロック、93
- B** (バルブ撮影)、67
- C** (AF-C)、75, 135
- CH 設定、165
- DISP/BACK** (表示 / 戻る) ボタン、18, 174
- DPOF 指定、197
- EVF (ファインダー)、12, 16, 17
- EVF 明るさ、17, 214
- EVF 鮮やかさ、215
- Fn** (ファンクション) ボタン、254
- F-log、168
- FUJIFILM Camera Remote、160, 192, 292
- FUJIFILM PC AutoSave、196, 293
- FUJIFILM instax SHARE、199, 244, 299
- HDMI、167, 168, 169
- HDMI ケーブル、290
- HDMI 出力情報表示、167
- HDMI レックコントロール、169
- instax プリンター接続設定、244, 299
- instax プリンタープリント、199
- ISO 感度変更、88
- LCD (液晶モニター)、10, 14, 16, 17
- LCD 明るさ、17, 215
- LCD 鮮やかさ、216
- LED ライト設定、164
- MASTER 設定、165
- MASTER (光通信)、273
- MENU/OK** ボタン、23, 114, 178, 202
- MF アシスト、144
- MyFinePix Studio、195, 295

M (マニュアルフォーカス)、84
P (プログラム撮影)、48, 62, 63
P、S、A、M 撮影、62
PC 撮影モード、245
PC 保存、196
PC 保存先設定、243
Q (クイックメニュー) ボタン、
249
RAW FILE CONVERTER EX 2.0、
295
RAW 画像、116
RAW 記録方式、117
RAW 現像、179
SD/SDHC/SDXC メモリーカード、
40
S (シャッタースピード優先撮影)、
64
S (AF-S)、75, 77, 146
T (タイム撮影)、66
TTL、110, 111, 163
USB ケーブル、294
WB シフト、123
[あ]
アイカップ、11
アイセンサー、16
赤目補正、112, 162, 189, 264
後幕シャッター、111, 265, 268,
271, 277
アドバンストフィルター、102, 103
アフターサービス (修理)、360

アベレージ (測光)、91
位置情報設定、244
色温度、125
色空間、129, 181
インジケータランプ、9, 33, 282
インターバルタイマー撮影、152
液晶モニター (LCD)、10, 19
オートパワーオフ (自動電源 OFF)、
236
オートフォーカス (AF) 撮影、74
オート (フラッシュ発光 AUTO)、
111
オート (ISO) / **A** (オート)、156
オート (**A**) 設定、89
オール (AF モード)、78, 80, 134
音設定、210
オプション品 (別売アクセサリ)、
302
お手入れについて、322

[か]

カードスロット設定 (静止画記録)、
240
カードなしレリーズ、232
海外で使うとき、316
外部フラッシュ (別売クリップオン
フラッシュ)、262
外部マイク、55, 169
顔検出 / 瞳 AF 設定、141
拡大表示、83, 86
画質設定、114

- 画質モード、116
 - カスタム (C)、92
 - カスタム選択、131
 - カスタム登録 (編集)、131
 - カスタムホワイトバランス、124
 - 画像回転、188
 - 画像コピー、191
 - 画像サイズ、115
 - 画面のカスタマイズ、20, 221
 - カラー、127
 - 感度 (ISO 感度)、88, 89
 - 感度 AUTO 設定、156
 - 感度ダイヤル、5
 - 感度ダイヤル設定 (A)、230
 - 感度ダイヤル設定 (H)、229
 - 感度ダイヤル設定 (L)、230
 - 基準 ISO 感度、89, 156
 - 基本設定、202
 - 距離指標、86, 220
 - 記録画素数、345
 - クイックメニュー (Qメニュー) ボタン、224, 249, 252
 - クイックメニュー (Qメニュー) 登録 / 編集、224, 252
 - クイックメニュー (Qメニュー) 割り当て変更、252
 - クリップオンフラッシュ、262, 263, 269, 303
 - グレイン・エフェクト、120
 - 減感 (増感 / 減感)、181
 - 言語、46, 206
 - 交換レンズ、283
 - 工場出荷時 (リセット)、209
 - 合焦マーク、76
 - コマ NO. (コマナンバー)、238
 - コマンドダイヤル、7
 - コマンドダイヤル設定、228
 - コンティニューアス AF (C)、75
- 【さ】**
- 再生音量、213
 - 再生時の表示画面、172
 - 再生ズーム、177
 - 再生方法、176
 - 再生メニュー、v, 178
 - 先幕シャッター、111, 265, 268, 271, 277
 - 撮影画像表示、216
 - 撮影時の表示画面、12
 - 撮影メニュー、iv, 113
 - 自動電源 OFF (オートパワーオフ)、236
 - 視度調節ダイヤル、11
 - 絞り設定、234
 - 絞り優先 (A) 撮影、69
 - 絞りリング付きレンズ、285
 - 絞りリングなしレンズ、286
 - シャープネス、127
 - シャッター音、213
 - シャッター音量、212
 - シャッタースピード、5, 346

- シャッタースピード操作設定、229
- シャッタースピードダイヤル/感度ダイヤル、5
- シャッタースピード優先、64
- シャッター方式、154
- シャドウトーン、126
- 消去、52, 182
- 消費電力設定、235
- 情報表示、246
- 情報表示の切り替え、18, 174
- ショートカット機能、248
- 初期設定、44
- 処理前画像記録、239
- シングル AF (S)、75
- シングルポイント (AF モード)、77, 78, 80, 134
- シンクロナルミナル、262, 263, 265, 266
- スタンダード画面、20
- ズームリング、49
- ストラップ、26
- スポット (測光)、91
- スマートフォン、192, 292
- スライドショー、193
- スローシンクロ、111, 268, 271, 276
- スロット切り替え、178, 240
- 静止画 (再生)、51
- 静止画 (プログラム撮影)、48
- 世界時計、205
- 接続設定、242, 244
- セットアップメニュー、vi, 202
- セルフタイマー、151
- セルフタイマー音量、211
- セレクターボタン、4
- セレクターボタン設定、228
- センサークリーニング、208
- 操作音量、211
- 操作ボタン・ダイヤル設定、223
- 増感 (増感/減感)、181
- ゾーン (AF モード)、77, 78, 80, 134
- ゾーンエリア特性、137
- 速度変化特性、137
- 測光ダイヤル、6
- 測光モード、91
- 測光&フォーカスエリア連動、145
- 【た】**
- ダイナミックレンジ、121
- ダイナミックレンジブラケティング、97
- タイム撮影 (T)、66
- 多重露出撮影、100
- 縦位置パワーブースターグリップ、279
- 縦表示、17
- 縦横自動回転再生、220
- 縦横自動回転表示、17, 217
- 縦/横位置 AF モード切替、139
- 中央部重点 (測光)、91

- 長秒時ノイズ低減、128
- 著作権情報、241
- デジカメプリント、197
- デジタルスプリットイメージ、87
- 手ブレ補正対応レンズ、286
- テレビ接続 (HDMI 出力)、290
- 電源、42
- 電子シャッター (シャッター方式)、154
- 電子水準器、21
- 点像復元処理、129
- 動画 AF モード、167
- 動画記録先、241
- 動画再生、58
- 動画撮影、54
- 動画設定、57, 166
- 動画モード、166
- 同梱フラッシュ、267
- ドライブ設定 (ドライブモード)、148
- ドライブダイヤル、5
- トリミング、185
- 【な】**
- 長押し (**DISP/BACK** ボタン)、227, 256
- 長押し (**MENU/OK** ボタン)、4, 13, 15
- 長押し (**Q** ボタン)、225, 252
- 長押し (ゴミ箱ボタン)、203
- 長押し (再生ボタン)、51, 178
- 長押し (リアコマンドダイヤル中央)、8
- 日時設定 / 日時変更、46, 204
- ノイズリダクション、128
- バージョンアップの確認方法、324
- ハイスピードシンクロ (FP)、271, 277
- ハイライトトーン、126
- パソコン接続、294
- 発光モード、110, 265, 267, 269, 274
- バッテリー、30, 34, 43, 279
- パノラマ撮影、104
- パフォーマンス、236
- バルブ撮影 (B)、67
- パワーブースターグリップ、279
- 半押し AF、231
- 半押し AE、231
- 光通信 (MASTER)、273
- ピクセルマッピング、130
- 被写体保持特性、136
- 被写界深度確認、70
- 被写界深度スケール、146
- 被写界深度目盛、287
- ヒストグラム表示、22
- 表示設定、214
- 表示比率、200
- 標準撮影枚数 / 記録時間、344
- ピントの確認、86
- ファイル名編集、239

- ファンクション (**Fn**) ボタン、254
 - フィルムシミュレーション、118
 - フィルムシミュレーション BKT、96
 - フォーカス位置拡大、143
 - フォーカスエリア選択、133
 - フォーカスエリア、79, 80, 81, 82, 133
 - フォーカスチェック、145
 - フォーカス点数切り替え、140
 - フォーカスピーキング、87, 144
 - フォーカスモード、75
 - フォーカス優先 (レリーズ優先 / フォーカス優先)、147
 - フォーカスリング、233
 - フォーカスレバー、4, 223
 - フォーマット (初期化)、203
 - フォトブックアシスト、194
 - ブラケット撮影、95
 - フラッシュ撮影、108
 - フラッシュ設定 (撮影メニュー)、161
 - フラッシュ機能設定、110, 161
 - ブースト (パワーブースターグリップ)、236, 280
 - プリ AF、140
 - プリント予約 (DPOF)、197
 - フレーミングガイド、219
 - ブレ防止モード、155
 - プログラム (**P**) 撮影、48, 62
 - プログラムシフト、63
 - プロテクト、187
 - フロントコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、7
 - 別売アクセサリ、302
 - ヘッドホン、212
 - ボイスメモ設定、190
 - 保存設定 (セットアップメニュー)、237
 - ボタンロック、4, 15
 - ホワイトバランス、122
 - ホワイトバランスブラケット撮影、97
- [ま]**
- マイクレベル設定、169
 - マイクロ USB 端子、33, 68, 296
 - マイメニュー (マイメニュー設定)、206, 258
 - マウントアダプター設定、157
 - マニュアル (**M**) 撮影、72
 - マニュアル時モニター露出 / WB 反映、217
 - マニュアルフォーカス (**M**)、84
 - マルチ再生、177
 - マルチ (測光)、91
 - 無線 LAN、292
 - メモリーカード、37, 39
 - モニター撮影効果反映、218

【5】

- リアコマンドダイヤル（コマンドダイヤル）、8
- リサイズ、186
- リセット、209
- リモートレリーズ、68
- レリーズ優先（レリーズ優先 / フォーカス優先）、147
- 連写（連続撮影）、98
- レンズ（取付）、28
- レンズ（交換レンズ）、283
- レンズキャップ、284
- レンズフード、284
- レンズなしレリーズ、232
- 露出補正、92
- 露出補正ダイヤル、6
- ロスレス圧縮、117
- ロック、234

【わ】

- ワイド/トラッキング（AF モード）、78, 80, 134
- ワイヤレス設定、242
- ワイヤレス通信、192
- ワンプッシュ AF 時の動作、146

MEMO

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書(本書)やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フィルム製品Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先にFAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？
トラブルが発生する直前の操作は？
カメラの状態は？
トラブルが発生する頻度は？

● ご使用のPC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名
ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合があります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フィルムFinePixサポートセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30 / 土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL **050-3786-1060** ご利用いただけない場合は **0228-30-2992**

FAX **050-3786-2060** 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

■修理サービスQ&A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

■修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口 **富士フィルム修理サービスセンター**

月曜日～金曜日 9:30～17:30 / 土曜日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL **050-3786-1040**

FAX **050-3786-2040** 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

■修理品ご送付受付窓口 **富士フィルム修理サービスセンター**

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1 / TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも【FinePixクイックリペアサービス】

お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>

▶お近くのサービスステーション【サービスステーション一覧】

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の「修理ご相談受付窓口」にてご確認ください。

●本製品以外の富士フィルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL **050-3786-1711**

(月曜日～金曜日 9:30～17:30 ※土・日・祝日・年末年始を除く)

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/index.html

